京城日報

二十日夕刊（朝夕刊を併せて八頁）

發行所 京城太平通一丁目 京城日報社

●不名譽の講和に優る

伊國首相は下院に於て伊軍の全滅は不名譽の講和に優れり政府は名譽ある講和の締結に躊躇せずと述べたり（倫敦電報）

●伊戰線墺軍組織

伊太利戰線に策動せる墺軍は全墺匈國軍九十二箇師團中の七十二箇師團を以て組織され居る事判明せり敵は有効なる砲兵隊及び航空隊の全部を用ひ目下の戰鬪に參加せる大砲は七千五百門を下らずと云ふ（倫敦電報）

●墺軍橋梁破壞さる

墺軍はピアヴェ河上に架せる十四個の橋梁を破壞せられたり（倫敦電報）

●獨潜航艇撃沈數

米國上院議員ウイークス氏は本年一月一日以來外國艦船が獨逸潜航艇二十八隻を撃沈せる旨を述べたり（ペンバートン電報）

●伊國臨時豫算可決

伊國議會は三十四票對二百八十三票の多數にて臨時豫算案を可決せり（倫敦電報）

●貝加爾住民の塗炭

貝加爾一帶の住民は獨逸の策謀過激派の暴戻に苦しめられ日本の出兵を待つ事頻りにして出兵の遲きに歎聲を漏しつゝあり（哈爾賓電報）

●駐露佛大使莫市著

駐露佛國大使は莫斯科に到着せり獨逸側の手先きは同大使の召還を報じ居れり（莫斯科電報）

●福建軍汕頭占領說

福建軍は汕頭を占領せりとの說あり（北京電報）

●吉會鐵道豫備契約調印 前渡金一千萬圓を交付す

吉林會寧線建設費に當つる爲め十八日支那交通部と興銀、臺銀、鮮銀シンジケート代表者との間に吉會鐵道借款豫備契約を締結調印を了し十九日興銀は駐日支那公使に對し前渡金一千萬圓を交付せり契約の內容左の如し（東京特電）

一、支那政府は本鐵道建設費其他必要條件を定め興業銀行の同意を求むる事

二、前項の金額決定せる時は興業銀行は支那政府の爲め之れに相當する支那政府五分利附金貨公債を發行する事

三、本公債の元利支拂の爲め現在及び將來に於ける本鐵道に屬する財產一切及其收入を擔保とす

四、項目は四鄭鐵道借款契約及び津浦鐵道借款契約に準じ雙方協定する事

五、本鐵道と朝鮮鐵道との運輸連絡に就ては圓滿なる聯絡を期する趣旨を體し別に是れを協定するものとす

六、日本興業銀行は支那政府に對し日本金貨一千萬圓の前貸を爲し支那政府は本公債募集に依りて得たる資金を以て優先に本前貸金を返濟するものとす

七、前貸金の授受は總て日本東京にて之れを爲す

●米國棒鐵禁輸

十九日入電米國は棒鐵全部の禁輸を發表せりとの報あり（大阪特電）

●孫逸仙京都行

箱根滯在中の孫逸仙氏は此程京都に向ひたるが近く上海に赴くべしと（東京電報）

●宮田中將來鮮

砲兵工廠提理宮田太郎中將は十九日夜着釜鐵道ホテルに一泊二十日朝市內視察の上午前十時半發列車にて北行せり（釜山特電）

●楠瀨中將動靜

楠瀨中將は十九日午前七時着釜野津分隊長の案內にて市中を見物し同夜內地に向へり（釜山特電）

●加奈陀新聞主筆

加奈陀クローブペーパー主筆マクドナルド氏は京城地方視察の爲め二十日朝釜山通過北行せり（釜山特電）

●總監哀悼言上

久邇宮賀彥王殿下薨去遊ばされたるに就き山縣政務總監は十九日午前十時京都なる久邇宮殿下御本邸御附事務官宛哀悼に堪へざる旨言上方發電したり

●兩王哀悼傳奏

久邇宮賀彥王殿下薨去遊ばされたるに就き李王、李太王兩殿下並に李堈公殿下より總督府に對し哀悼の意を表する旨の傳奏方申出であり たるを以て其の旨山縣政務總監より十九日午前十時在京長谷川總督に宛て執奏方を發電せり

●戰爭が生んだ兵器の改良

宮田中將談

用向は支廠工事の視察 十九日夜釜山に上陸した砲兵工廠長宮田中將は往訪の記者に語つて曰く自分は朝鮮は初めての旅行で今回は過般より平壤に建築中の支廠工事の概況視察の爲め出掛けて來たが愈々

▲落成の曉 は朝鮮に於ける兵器の修理は勿論大砲小銃を除くの外は全部製作し得ることゝなる

戰爭が生んだ一般兵器の改良は素晴らしいもので現に日本でも日淸戰爭に依つて三十年式の小銃を得日露戰爭に依つて三八式に改良したが之れで日本は世界中に於ても兵器は一頭地を拔いて居る、現在でも色々卓越した器具も研究して居るが何分莫大なる數の事とて一時に改造すると云ふ事は困難である

▲佛蘭西の 如き其れである小銃の改造と云ふ事は毎年議會に提出されて何時も贊同は得るが扨て實行となると何分佛國全部の小銃改良に要する費用は五億萬法の巨額である爲めに其の經費問題に依つて度々翌年へ繰延べとなつて今回の戰亂となつた譯だが戰爭が持續されて今日に及ぶ迄には相當の研究を爲して居るが前述の費用を銃器の改造にのみ要するけ莫大なる爲めに現在では銃彈の改良を爲すに止めて居る單に銃彈の改良と云つても銃一挺に二千發の準備彈を要するとしても數十億を貯造するの

▲必要ある 譯で彌々困難が生ずる何れにしても今次の戰爭が生んだ兵器の改良は多大のものであら平和克復の曉は素晴しい發展を爲す事と思ふ（終）

●支那借款金利引上 幣制改革は銀本位より金本位に

日支實業銀行專務 神內常次郎氏談

十九日夜京城通過北京に歸任せし神內實銀專務の談に曰く

▲人物不足 今月中東京滯在の豫定であつたが某借款に關する要務を生じたから急遽歸燕の途に就いた譯である、其の交涉の進んだ某借款に就てはお話しを憚かるけれど世上傳へられつゝある西原氏の關係せりと云ふ者とは異つて居る、進一步東上用向の一つであつた東京事務所の擴張も從來興業銀行內に置いてゐたものを同所で幾分擴大はしたが狹く思ふやうに人もゐない間口も擴げられぬ、上海支店の如き是非設置せねばならぬのであるが尙ほ土地の對內並に對外關係を詳細に査する必要もあるしそれに人物が斯う拂底ぢや困る譯である

▲對支放資 支那の借款も色々な方面で交涉されてゐる者が多く今後その成立が相續けば日本の支那放資額は實に莫大な額に上るであらう、乃でその資力の點を圖るため最近東京大阪の有力銀行十八行で海外放資團の成立を見るに至つたのであつて此の放資團の信用と資力とにより應じ得らるべく借款は總じて行かうと云ふ事になつてある、現に今回公募を發表した興業債券五千萬圓の如き興銀を除いた十七銀行の海外放資團に於て引受けその一般賣出しをやる事に決定つてゐるが、右の中二千萬圓は過般興銀臺銀鮮銀の三行で引受けた鐵道借款二千萬圓の前貸借款に振替へ殘りを分割し三行銀の關係する對支放資に充當すべく尙ほ資金の不足を來せば興債の政府保證限度一億圓までを發行せらるゝであらうと思はる、

▲支那借款利上 刻下の問題は利子を今のやうに低率に止めてゐては到底不引合と云ふ事である、政府の公債さへ年六分三厘何毛に當つてゐる時、少くも同利率以上の興債を發行して其の資金を支那政府の手に渡すまでには勸業銀行なり又支那側の何等かの機關を通じつまりトンネルをいくらも〳〵くゞらす必要があるから結局その間若干の手數料を收めてゐれば先方渡し年八分位の利率では採算上借款も成立しにくく、自然利子引上の必要を生ずる譯である、殊に內地の金融界は時局關係や公債募集の氣配などより緊縮一方であるから殊に利上を必要とする樣だ、更に借款の使途なども色々論があるけれど今日の所支那政府との間に成立した借款が討南費に充當されるのは止を得ないやうである、尤も興銀拔びの電信借款は交通部に八百餘萬圓を保管して居るのであつて既に全部が南軍の討伐費に充當せりとの議論は誤つてゐる

▲銀本位より金へ 支那の幣制改革も色々議論がある、金本位と云ひ金爲替本位と稱へ銀本位が有利だとなし紛々として歸一せぬけれど要するに國家の統一が出來ない現在の支那の幣制改革は非常の重大事件であつて其の實行は至難である、一種の議論として又は局部的に實施するものとすれば金本位論金爲替本位論の如き頗る思ひ切つた又進んだ意見のやうであるが、現下支那の國情から見れば先づ銀で完全に統一し而して後金に進むと云ふ阪谷男の意見は最も穩當であつて又順序であらうと信ずる

●地稅令改正に就て（三）

鈴木度支部長官談

要するに朝鮮に於ける舊稅制度は李朝の末葉に至り著しく紊亂し結の數の如きも其の名存して其の實無く官吏相率ゐて土地を欺隱し之を逋脫したる爲國庫は常に窮乏を告げ國政の運用其宜しきを得ざりしが故に帝國政府は韓國政府を督勵し

▲銳意之が革新を圖り積年の流弊を根絕することに努めた併合の事あるや帝國政府は從來の人民の地稅滯納額を免し且當局者の緩漫なる徵收を免除し以て稅制の革新を圖り大正三年地稅の獨立の計畫成るに及んで更に地稅令を發布し地稅の賦課減免及び徵收の方法を明確にし殊に荒地、開墾地、埋築地等に對する免稅の途を啓き同時に災害に因る收穫皆無地に對しても亦地稅を免除するの制度を設け地稅負擔の適實を期せり尙從來地稅は多く小作人の負擔なりしも固より地主に於て負擔すべき性質の者なるを以て土地所有者を

▲納稅義務者と 爲す等地稅制度を革新せり又結價にして著しく失當なるものは之を更改し賦斂に厚薄なからしむると共に歲計の充實を圖れり然れども如斯は一時彌縫の策に外ならず宜しく課稅地の根本を調査し正確の標準を索めて賦課の適實を期すべし之れ即ち土地調査事業を行ふを爲したる所以なり

四、地稅の賦課方法改正

今や土地調査事業は漸く完了し各郡島全部に亙り土地臺帳を設備するに至りたるを以て地稅令を改正し大正七年分地稅より結稅制度を改め地價制度と爲し全道

▲同一の稅率に 依り地稅を賦課することに決定せり抑も地價は土地收益に就き極て精緻なる調査を遂げ其土地の狀況を勘案し之を基礎とし決定したるものなるを以て各土地の擔稅力を最も適實に表示せるは疑なき所なり而して土地收益調査の當否は重要の事項なるを以て特に愼重に考究し苟も公正を失し若くは地方的事情に制せらるゝが如き弊に陷いらざらんが爲收益調査に就ては最も組織的にして且つ統一的なる制度の下に多くの日子を費し

▲精確なる調査 を遂げたるものなるを以て今回地價に依り地稅を賦課するに至らば賦斂の平衡を期し得るは勿論容易に積弊を一掃するを得む

●殖銀委員

朝鮮殖產銀行設立委員長並に委員は二十日附左の通り任命辭令を交附し同時に發表ありたり

株式會社朝鮮殖產銀行設立委員長を命ず

政務總監 山縣伊三郎

總督府度支部長官鈴木穆▲同農商工部長官小原新三▲大藏省銀行局長森俊六郎▲拓殖局次長[illegible]俊吉▲總督府總務局長荻田悅造▲[illegible]▲從四位子爵閔泳徽▲正四位勳三等川上常郎▲正四位勳三等志村源太郎▲從四位勳三等小山健三▲正五位勳四等佐々木勇之助▲正六位勳四等美濃部俊吉▲勳四等土方久徵▲勳四等安田善三郎▲勳四等韓相龍▲從六位勳五等片山貞次郎▲從六位勳五等三島太郎▲勳六等原田金之祐▲木村雄次▲高瀨梅吉▲趙鎭泰▲白完爀▲李鎭泰▲李炳學▲朴永根▲金漢奎▲金秉治

株式會社朝鮮殖產銀行設立委員を命ず

●辭令

十九日附を以て左の通り辭令ありたり

總督府醫院技師 宮島親
依願免本官

同判事 金洛憲
陞敍高等官二等（十七日附）
依願免本官

中樞院副贊議被仰付 正六位 金洛憲

●上半貿易

一千八十九萬八十餘圓 累計一億一千百十三萬圓

六月上半期朝鮮貿易は輸移出品價五百二十萬三千五百一圓、輸移入品價五百六十九萬四千九百六十三圓合計一千八十九萬八千四百六十四圓にして前年同期に比し輸移出品に於て二百八十四萬七千五百四十九圓、輸移入品價に於て二百四萬五百六十六圓、合計四百八十八萬八千百十五圓の增加也一月以來の累計

出入貿易合計は輸移出品價五千九十四萬六千六十圓輸移入品價六千十八萬七千九百八十七圓合計一億一千百十三萬四千四十七圓にて輸移入超過九百二十四萬一千九百二十七圓前年に比する時は輸移出品價に於て一千八百九十萬餘圓輸移入品價に於て二千十七萬餘圓合計三千九百萬餘圓の增加を示せり而して輸移出に金銀並に地金銀の貿易は輸移入十三萬四千七百五十八圓、輸移出金貨及び金地金に九百十二圓を計上したるのみなり

▲輸移出及輸移入品價額（△印は減）

區別	本年本月上半分	前年同期	本年一月以降累計	前年累計
輸移出品價	五、二〇三、五〇一	二、三五五、九五二	五〇、九四六、〇六〇	一八、九〇二、三六[illegible]
輸移入品價	五、六九四、九六三	三、六五四、三九七	六〇、一八七、九八七	四〇、〇八二、八五二
合計	一〇、八九八、四六四	六、〇一〇、三四九	一一一、一三四、〇四七	七二、一二六、五五〇
輸移入超過額	四九一、四六二	一、二九八、四四五	九、二四一、九二七	八、〇三九、一五四

▲輸移出重要品價額

品名	本年本月上半分	前年	本年一月以降	前年累計
米	二、二五七、〇一八	六〇六、四九五	二〇、三三九、八六八	一三、八三一、三〇五
豆類	二四四、六七七	四二七、〇〇三	五、二五五、四七五	四、七四五、四八五
魚類	五九〇、八二三	九二、二八一	一、四二〇、七三七	六五八、九六五
人蔘	二、二九〇	七四七	四三、三五九	三五、三〇七
棉花	三六八、四四三	二六、七一四	五、三八八、三一八	一、八二一、九〇三
繭	二七、五三六	一、五五二	一五二、二七五	八三、三九三
金銀塊及法貨	△二三、五四一	八、九九五	三二四、七九六	三八五、七四三
鐵鑛	六三、九四六	三〇、九八三	二二四、七九六	一〇八、五二四
重石鑛	一七八、四二一	九九、五三五	一、〇三一、七四五	七六四、三五八
黑鉛	六八、二五四	六一、三八五	五六三、六五三	二七五、六四六
含金銀銅	△二一七、五三四	一九二、四一四	一、九八七、九八〇	二、二三九、一四〇
銑鐵（拔鐵）	二六〇、五五七	一二三、八三〇	一、九〇四、九一七	一、〇五〇、六〇六
牛皮	△二二、四二四	六七、三二一	七〇九、七四二	八九三、九五七
皮革製品	△三五七	一五	三三、六一〇	九六、八三三
煙草	五八、二六五	三九、七七二	八八一、四八四	四一〇、五三二
生牛	五、七四八	八、五〇	九二、四三三	三〇四、五二三
肥料	一〇三、八九三	八八、四七五	六九五、二四六	五七四、二一一

●南大門水色直通工事近く起工せん

南大門驛より水色驛に直通する沿線地帶は既に土地の買收終了し工事設計も出來したるに付目下鐵道局より工事實施認可を總督府に申請中なるが認可あり次第請負入札に附し直ちに起工の豫定なり同線は距離十哩にて現在の京義線が南大門より龍山に引返し更に迂回して水色に進めるだけあり二個の長トンネル掘鑿を要する由にて右工事の難關なるに付竣工は大正八年中となるべしと

●阪浦航路整理

朝鮮郵船會社に於て受命經營しつゝある大阪浦鹽間の航路は六月十日以降の定期發著を變更し當局の認可を經たるが右は大阪發著貨物の減退により大阪に於ける碇泊日數從來の三日を一日に短縮しその結果神戶並に浦鹽の碇泊時日を延長せるものにて浦鹽積出し神戶行きの大豆、豆粕は三四萬噸の停滯ある由なり

●海運界夏枯

朝鮮各港に於ける出貨は近來頗る減退し殊に內地行き貨物は拂底の觀あり北鮮航路の如き大豆は既に出盡し又城津方面の黑鉛は値下の爲に遭遇して不況となり出貨漸減しつゝあり釜山よりの積出し並に鐵道沿線の貨物は相當量あれど運賃の關係上鐵道運輸に託し居れるため大阪商船尼ヶ崎汽船朝鮮郵船各社の內地朝鮮間航路は船腹の餘剩多きに困じつゝありと

●最近京城金融

穀物相場の奔騰に依る鮮人側の思惑買盛んに行はれ且つ夏物仕入資金、工事資金等の需要ありて金融は月初以來小緊なりしも外米輸入指定條件の發布に依り市場は相應の影響を受け米穀の取引頓に鈍狀を呈し綿絲布は引續き不振軟弱にして此等方面に對する資金の需要を減少し此の外支那商人側は中米兩爲替の關係上上海送金の取組高幾分增加したるも輸出入品の大宗たる米穀及び綿絲布の市況不振の爲め資金の需要尠く金融緩漫裡に越月せり今市內九銀行の殘高を見るに預金四千二百五十一萬八千六百四十一圓貸出二千九百八十九萬二千六百七十三圓にして之を前月に比すれば預金に於て二百九十八萬三千三百五十五圓を減少し貸出に於て二十六萬二千七百七十九圓を增加せり而して更に之を前年同期に對比する時は預金千四百四十五萬八千九百六十圓貸出千七百十七萬八百三十七圓を何れも增進せりと（京城商業會議所調查）

●京畿賦課金狀況

京畿道管內に於ける本年三月末日現計大正六年度地方費賦課金徵收狀況を聞くに合計調定濟額十九萬三千四百四十五圓に對する收入濟額十九萬一千六百三十八圓缺損額三十七圓收入未濟額一千七百七十圓八步合九割八步五厘を算せるが其の內譯左の如し

▲地稅附加稅に於ては調定濟額三萬六千八百四十八圓に對し三萬六千七百九十四圓の收入あり收入未濟額五十四圓此の收入步合九割九步八厘

▲市街地稅附加稅に在りては一萬三百四十八圓の調定濟額に對し收入濟額一萬三百十一圓にして三十七圓の缺損あり

▲市場稅に在りては調定濟額[illegible]十二圓に對する收入濟額四萬一千二百六十一圓にして五百十一圓の收入未濟額九割八步六厘の收入步合を算せり

▲屠場稅にかては六萬六千二百九十圓の調定額に對し六萬五千百二十六圓の收入あり收入未濟額一千百六十四圓にして此の收入步合九割八步二厘なり

▲屠畜稅に在りては調定濟額三萬八千百四十五圓收入濟額三萬八千百四十五圓にして完納を見たり

●鑛業登錄（自六月十日至同十三日）

▲鑛業權設定

鐵（京畿道開城郡上道面）十萬九百十坪 張興烈 金基喆

金銀鉛（慶尙北道達城郡達西面）十六萬三千二百四十七坪 倉成綱 志賀米馬

金銀銅鉛黑鉛（江原道三陟郡蘆谷面）九十九萬九千十八坪 齋藤新太郎

砂金（咸鏡南道新興郡東上面）五十二萬二千五百坪 三石井久三 稻垣留三郎

同 同 同 二百九十萬九千[illegible]坪 同

金銀銅（全羅南道順天郡）七十四萬四千九百坪 李容珣

●議員團動靜

二十日夜入京の代議士鮮滿視察團一行十二名は二十一日午前九時南大門驛發仁川に赴き築港視察の後午後一時仁川府廳に於て午餐を喫し府內視察の上午後五時二十五分仁川發六時十三分着京の筈

●宮田中將入京

砲兵工廠提理宮田中將は二十日夜入京朝鮮ホテルへ投宿の筈なり

●旅團副官更迭

第四十旅團副官二宮中佐は少佐より進級同時に本鄕區聯隊司令部に轉任する事となり十九日朝出發同副官の後には大邱部隊より伊木少佐を以て補任し八日夜轉任せり

●參謀長佛國領事

京城駐在佛國領事グラン氏は今回濟駐在に轉任せるに付告別の爲め八日司令部を訪問し轉任の挨拶をなせるを以て右答禮として市田參謀長は古城副官を隨へ二十日午前九時領事館を訪問せり

●川上理事出張

川上東拓理事は大田江原地方狀況視察の爲め廿日朝八時半發列車にて出張したるが往復三四日間の豫定なり

●森田代議士病狀

十九日夜入京したる森田代議士は直ちに總督府醫院に入院したるが氣管支に若干異狀ある外別に異狀なしと

人事消息

▲堀三之亮氏（滿鐵京城工務課長）廿日朝退京

▲小松俊氏（滿鐵社員）同行京城朝鮮ホテルへ

▲伊藤完忠氏（遞信局海事課長）廿日の豫定を以て平安丸定期發着の爲め大阪へ出張を命ぜらる

▲陸軍[illegible]總監 二十日朝大邱へ

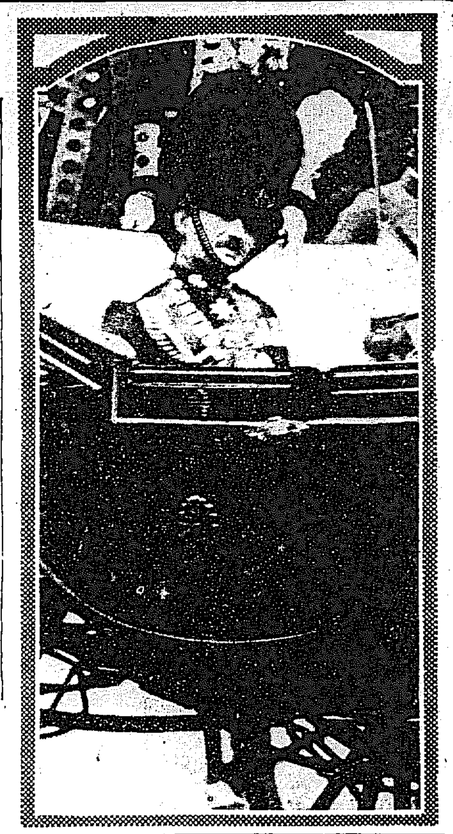
▲吉田東拓平壤出張所長 十九日午後入京

▲古海財務總長 二十日朝平安北道へ出張

□北海道まで（一）

東京にて 天民生

仙臺の少し手前で日蝕を見た。汽車の中の日蝕見物は之が初てゞある。太陽は五度許り上つて段々と蝕し初める、舊の五月一日、日出後間もなき頃で四時四十分過でもあらう。蝕甚のときは左下に三日月形が殘つた、淡く雲がかゝつてヌボー式の東北の野に映じたとき何とも言へぬ寂い氣持であつた。平泉の古戰場を界として根據を西に構へた岩手縣の補缺選擧は夜を以て終了し、各本部より發せる急報、濱口、島田、早速、澤、安達、元田、大岡、井上の諸氏は漸次歸途に就けりと。如何にも物々しき政爭であつたらう。桃靑が此處で詠した『夏草や兵どもの夢の跡』を其の儘、薰風一路の汽車は無心に進んで行く（未完）



御馬車上のコンノート殿下 ―十八日御入京―

◎豊明殿御宴

百花爛漫の殿に 至尊親しく コ殿下のために御乾杯遊ばさる ◇李王世子殿下を御紹介

十九日御旅館に 聖上陛下の御答禮を受けさせ給へるコンノート殿下には同日午後六時廿分御旅館御出門宮城正門より參內あり御車寄にて畏くも 陛下の

♣御出迎 を受けさせ給ひ御同列にて鳳凰間に進御あればその處に皇后陛下の御出迎へあり 陛下には薄桃色のローブデコルテの御禮裝にて吉見掌侍以下を隨へさせられ山中御用掛の御通譯にて種々

♣御物語 あり伏見宮殿下以下各皇族同妃殿下とも御挨拶を交させ給ひしが此時 聖上陛下にはコンノート殿下と最初の御對面なる李王世子殿下を御親ら御紹介遊ばされ斯くて戶田式部長官の上申にてコンノート殿下は皇后陛下の

♣御手を 聖上陛下には閑院宮智惠子殿下の御手を執らせ給ひつゝ各殿下共々豊明殿に參進御晩餐の宴を開かせ給ひたるが當夜は殿中百花爛漫として芳香薰じ彩光相映發して華麗眼を奪ふ斯くて宴酣なる頃 陛下は親しくコンノート殿下の爲め

♣御乾杯 遊ばされ亞いで 陛下に對し殿下にも恭しく御乾杯あり此間式部職樂員は輕き英國樂歌を奏して御興を添へ奉りしが右終りて兩陛下には國賓殿下其他各殿下と牡丹間に進御

♣御歡談 あり茲に隨行員一同に皇后陛下謁を賜ひ午後八時過る頃御退出相成りたり、當夜山縣樞相、松方內府、東郷大勳位、寺內首相、長谷川總督其他に御陪食仰付られたり(東京特電)

◇賀彥王歛棺式

十九日故賀彥王殿下の歛棺式擧行されたり(京都特電)

◎藥物學研究費寄附 藤田男の美擧

藤田男は今回京都帝國大學へ向ふ十年間一年三千圓宛藥物學研究費として寄附する事に決せり(大阪特電)

◎高雄炭坑爆發 三名負傷す

十九日朝福岡縣高雄炭坑爆發し其際三名の負傷を出せり(福岡電報)

◎俘虜本願寺に 一泊ローガ丸にて歸る

俘虜伊太利兵一行は搭乘船未着の爲め釜山東本願寺に一泊二十一日伊國公使來釜の上ローガ丸入港次第出發歸國の筈なり(釜山特電)

◎一萬二千餘圓 捲上ぐ

京城武橋町姜泰熙(三五)昌成洞吳世泳(三二)昌信洞沈元興(四〇)貫鐵洞金鴻基(四〇)鍾路二丁目申泰業(三二)外三名の八名は殆ど前科者にて共謀の上惡く僞名し田舍より入京し來る資產家の標鳥を物色中本年五月末慶北安東邑內居住鑛山業兼吳服商なる李祁鎬(三二)が商用にて入京し旅洞に滯在し居るを發見したる八名は入り代り立ち代り有ゆる奸手段を弄して祁鎬を誘惑し遂に詐欺仕掛の賭博を開帳して祁鎬をして退も叶はぬ破目に陷らしめたる末現金一萬二千餘圓を捲き上げ各分配して宏宅を構へ豪奢なる生活をなし居るを本町警察署にて探知し大活動の末京城及び富平にて關係者五名を逮捕贓金三千五百圓を押收し嚴重取調べの上檢事局送り

◎馬力を掛て軒別調

―演習點呼願を懈る在郷軍人― 某憲兵呆れて曰く

今度發布された演習召集及び簡閲點呼施行規則に關して一般に趣旨が徹底して居ないのと手續法を知らないために軍司令部に直接問合せる者や本紙『讀者の領分』欄を通じて照會する者が日に數十名を數ふる程であるが之に就いて京城分隊某氏曰く分隊では手續を懈つて

◎處罰さる る者のないやう憲兵が晝夜兼行で在郷軍人を調査して歩いて居るが何分今日居て明日居ないやうな者が多いので名簿をもつて軒別に探し歩いても仲々解らない番地なども一番地內に數十戶もあるので閉口する目下の處六人の憲兵が南山町大和町黃金町本町方面を

◇各々分擔して居る が右のやうな次第で如何に馬力をかけても一日に二十名以上探し出す事は困難である、併し時日の切迫して居る折柄とて早く調査を完了して了はねばならぬので憲兵は劍をがちや〳〵させ乍ら露路から露路を辿り夜は晩餐を終るとすぐに和服を引かけて出掛けるやうにして居る暑氣の激しい昨今の事とてげつそりして了ふ、調査中に

◎驚くのは 亭主の留守中妻君に兵役關係や原籍地を聞いてもてんで知らないものが尠くない流石に鮮妻とは能く言つたものだと感心するが亭主の原籍地さへも知らないとは言語同斷开處へ行くと夫の留守中

◇軍隊手帳を出して 見せる婦人は奥床しさを感じる男でも私は未敎育補充だから开麼事には一切關係ない筈だと云ふので補充兵でも簡閲點呼規則に定められた徵收年限に相當する者は簡閲點呼を受けねばならぬと敎へてやると非常に周章て手續方法などを聞くが規則や手續きに關する

◎心得書は 在郷軍人分會や憲兵隊から數千枚配布したのでも足りず其後も增刷して希望者に頒與したから大抵周知の事と思つてゐたが歩いて見ると案外知つて居る者の尠いのは遺憾だ

◎狂犬病豫防注射

目下狂犬の發生時季とて京畿道警務部にては京城府內の畜犬飼養者中豫防注射を希望する向きには無料にて注射に應ずべく各所轄署に其の旨申出づべしと

◇金剛石を拾ふ

此の程京城三越支店前の道路にて同店の店員が光輝燦爛たる小粒の寶石を拾つて本町警察署に屆出でたるが是れは指輪に鎔めてあつたダイヤモンドらしく同店員等の鑑定に時價四五十圓位のものなさうながまだ落し主が判らないと

相撲雜記帳

◇四本柱と獨り相撲

を取る程の者もある熱心な稽古振り 横綱大關が溜に頑張つて 小相撲の取口を批評する理想的方法

◇…僕が、態々餘り近くないところを、釜山まで掛けて相撲見物に來たのは、僕の殆んど知らない、千葉ケ崎、大潮、三杉磯、琴ケ浦、藤ノ川諸君の相撲振りを、親しく見て頭の中に入れて置きたかつたからである、それだから初日から千秋樂まで三日間といふもの、朝早くから熱い撲場に出張して稽古、申合ひを見ることを怠らなかつた。

◇……稽古といへば、巡業中に、稽古を懈けると、それが直ぐ年に二度の登龍門たる本場所の相撲に、覿面に響くといふことを、近來非常によく自覺してゐるので、幕下の腕達から大關横綱連迄で、盛に稽古に身を入れてゐる、早いのは七時頃から場所入りをして相手が無ければ四本柱に打突かつて身體を鍛つてる者もある、實に熱心だ。

◇……幕の內連は大抵午前八時前後から、場所入りをして盛んに借り合ふ、申し合ひをやる、小相撲連に稽古をつける、火の出るやうな烈しい稽古が十二時過ぎまで四五時間續くので、早くから土俵近い溜りに割り込んでる、本當の相撲好きの連中は大喜びだ、幕の內で最も稽古に熱心なのは、大潮、三杉磯、琴ケ浦、藤ノ川等の新進連である。

◇……幕の內の稽古が、一しきり終ると、二三段目ところの元氣なのを三四十名、東西に分けて申し合ひをやらせる、この時には横綱、千葉ケ崎は勿論その他の幕の內連中、相撲熱心の名行司勘太夫、若者頭までが溜りの兩側にズラリと並んで、取口の指導、手口の批評などをしてやつてゐる、

◇……相撲ごとの緊張させて、猛烈な馬力で立合ふ、横綱大關並行司の目前で、褒められ、或は注意を與へられるのは、確かに彼等小相撲連中の本懐とする處であるらしい、溜にいゝ方法だと思ふ、これが爲めに少し有望と思はれるのは めき〳〵と進歩發達して行くといふ、今年の五月場所で、この組合の幕下に全勝の多かつたのは、指導獎勵その宜しきに因るとが競はれよう。

◇……稽古甚くなつて欠張り確かりしてゐるのは、何んと言つても、旨いものである、行司の式守勘太夫君はいふ『この組合稽古を解しくいふ組合は、出羽の海部屋かいてはありませぬ、稽古熱心の相撲は强いものはありませぬ』と確かにその通りである、また或る力士はんなことをいふ『柔道劍道には一つ型があり、勉强すれば

◇…必らず免許が得られるが、相撲となると、幾ら年數を經て相撲が上手になつても、免許指傳は與へられない、柔劍道では十日や二十日道場に出なくつても、その技術が然まで衰へるものではないが、相撲となる、二三日稽古を休んだら大變だ、いかに横綱大關でもコロ〳〵轉がされて終ふ、それだから吾々は些しも身體が惡くても稽古は休めない』と

◇……尤もの話である、飽くまでも實力本位で終始する相撲の妙味は茲にあるのだ、稽古について一言して置きたいことがある、それは釜山では土地の素人相撲が三四人、稽古場に出て、稽古をつけて貰つてゐたことである、一行中に十兩格の伊達錦といふ、温厚な相撲があて、自身が稽古臺になつてやつたり小相撲連が監督して、

◇……亂暴なことをせぬやうに、傍らに注意してゐる、そのためか、素人の素人相撲さの取組に、却々面白いのが見られた、京城でも近頃素人相撲が大分盛んになつたやうだが京城の素人力士連中、一行が京城に乘り込んだら、一つ打突かつて見ては何うだ(釜山にて三生)

◎髮結賃改正

京城本町警察署では管內內地人女髮結營業者に對して十九日營業上の取締に就いて十六項の訓示を與へた而して其の料金を這回一等店の島田髷を三十錢夫れ以下四等迄として各五錢下り普通髷を二十五錢以下各等五錢下りと改正した

◎白米値上げ

割安のため兩日中に再び値上の模樣

內地及び滿洲方面の輸移出捗々からざりし關係上白米は原料に比し割安なりしかば京城白米商は小賣平庸値上げ廿八錢となしたるが更らに一兩日中に値上げする筈なりと

◇お伽巡禮(五) 口全州口 涙光生

◇十四日午後八時、會場たる公會堂に俥を走らす、廣い場內には電燈が會衆の顏を照して居る、突然の催しにもかゝはらず律川販賣店主の大なる働きに依つて上流階級の夫人連のお顏が多いやうであつた九時井手通信員の開會の辭に次いで藤村理事の挨拶があり拍手に迎られて壇を降りるや巡禮さんが現れて石河原を石油鑵でも引ずり廻るやうな聲で御詠歌ならぬ講演を初めた、極く平易な演題を選んで二席を終へたのは正に十一時

◇汗みどろになつて新しいカラーもグタ〳〵になる、夜更けた街かな暗い街を歸つて深い眠りに入る、朝までの深い眠りに目覺むれば八時半、庭下駄に素足の儘を泌ませつゝ林檎畑を逍遙すれば可愛い蝶がヒラ〳〵と朝の風に翅をひろげてゐる

居る、山中小學校長の紹介で壇に立てば小さい拍手が鳴りも止まぬ側に依つて三席の講演にお腹の皮をよらせておいて最後にシンミリ可愛い涙を見せて貰つた、中に初めつから仕舞まで聲を立てゝ泣いてる少女があつた、聞けば親のない可哀相な身の上であるさうだ

◇十二時散會、歡迎の意味をかけた夕食を共にといふ有志諸氏の厚意にて宿に歸る、◇柴田面長、兼學校組合管理者、山中小學校長、大原第一普校長、長野全北日報支局長、土井通信員、佐藤販賣主任等と共に盛にして寢さず、大久保副長に會せらる、管の處近郷の水の取合にて出來せる者多數ありて出られざりしは甚だ心殘りであつた、署長の來訪を受けしも不在中にて失禮せるは甚だ遺憾であつた、斯うした大なる好意を受けつゝあるうちにも時計の針は進んで行く、前記の諸氏にまた逢ふ事を約して、今までになき居心地よかりし林檎畑の平野家を辭して驛に走る

◇松村農業校長、長山中小學校長等は特に驛まで見送らる、マッチ箱のやうな汽車に運ばれて裡里に向ふ木浦行の列車に間に合ふまいと心配する程汽罐の運轉のにぶさつたらない、やつと木浦行きに乘り替へてホット一息柳井中支局長此處より一時半にして井邑に着けば井上校長、佐藤販賣店主に迎へられて旅館松葉に入れば總督府書記官大庭氏と廻り會うて同宿した、旅のつれ〳〵田舍の一夜を語り更した、明日の講演は佐藤氏の配意で十分行屆いてゐて嬉しかつた

◎降雹被害

十日午後三時四十分より同四時三十分に亙り黃海道瓮津郡山瀧、仙岩地方に於て直徑二寸乃至三寸大の降雹あり白菜、麻苧、麥、馬鈴薯、大豆、小豆等中全然結實不能となりたるもの多く收穫二割乃至三割減收の見込なりと

灯ともし

某將軍が南鮮巡視の時某逆旅の床の間に大德寺管長の幅らしいものがあつてその文句が何にも氣に入つたが意味深長で流石の將軍にも解釋が付かぬ▲副官の某大尉を呼んで『お前にはこれが分らぬか』と尋ねられても確と解らない▲スルト某副官が不圖氣が付いたのは豫て懇意な禪學熱心の某居士であつた▲臨求めた▲某居士に裁して解釋を請ふと碧巖錄第九十則にある入聲しい一則であつた▲某居士はその則に就ての垂示や古事やらを調べて美濃紙五枚に細々と蛇足を加へて送つてやつた▲副官は之を將軍に奉ると將軍は段々續んで行く中に少し解つたやうな感じがするぞと悦に入つて居たが讀み了つた時には解つた積りのが薩張りつて居なかつたらしい▲術來將軍は暇さへあれば之れを讀み返し繰り返して味つて居るが矢張り分らない▲此程井上圓了博士の來れるを機に將軍は例の句を示して質問に及んだ▲博士は目を細くして笑つて居つたが『これは將軍矢張り分らぬのが本當です自身に骨を折つて腹の中から錬り出さねば誰れが解釋しても結局解るものではありません』と

運動界

◎京中對京城俱野球試合 二十三日午後三時より京城中學校グラウンドに於て同校對京城俱樂部の野球試合擧行の筈

◎龍山弘法大師誕生會 龍山高野山にては例年の通り廿日午後二時より誕生會を執行す

◎篠田玄一氏訃

京城光熙門外南山商會主篠田玄一氏は出張中十九日朝腦溢血にて死去せり氏は岐阜縣御國町の出にて夫人きよ子との間に長男富士男(三)あり

商況

東京期米特電

二十日前場 二十六圓六十三錢 二十六圓六十六錢

兵庫期米

二十日前場 二十六圓七十八錢 二十六圓七十五錢 八十錢

大阪株式特電

大阪期米特電

下關期米特電

雜報

◎正米續いて高し

正米は地方益々高模樣にて本蒸の如き二十四圓五六十錢を稱じ割安の當地よりは全然手を集むる事難く其上地場買物は大部分が思惑來なるを以つて賣り人は日一日と鼻息荒く一般の人氣も

自然之に煽られ

知らず〳〵の間に値を持上げつゝあり此外に賣人の態度は極度に強張り唱へ値は賣人と買人との間に約五十丁內外の

殆ど商內纏らず

差ある爲め賣手筋も手の着け樣なしとて傍觀の態なるが氣配としては前日より

高唱へ 更に二三十錢

高唱へなれば見當相場としては先づ本玄の二十三圓八九十錢といふ處なり

◎洋釘高氣配

洋釘は原料高に連れ內地市場益々高氣配なる割々の原因たりし大連市場の段物も昨今大分に伴ひ破切高値を示し

新期入荷は一段落

割安品の昂騰

來れる上品物さの事なれば殆ど割安品は漸次に騰勢を見るに至るべし

◎內地正米も強硬

產地正米は農繁の折柄唯さへ出廻り薄の季節に加へ期米高に刺戟されて益々強硬を加へ兩三日來引締き二十錢高を齎せしが然も買はんとせば纏まりする賣物も無之

◎眞綿好氣配

內地最近の眞綿市況は古物の拂底と高値のため殆ど取引なく新綿の手堅きため新綿は益々好調

◎亞鉛線昂騰

八番線は五十錢高

◎平板益々強し

跡更に高模樣

◎洋藥市場活潑

◎白米依然割安

下關相場

▲朝鮮米は頗る好況 其後玄米手首叺白米五百五十叺等の輸入あり

▲朝鮮一等白米 廿九圓五十錢

▲同(當用) 廿九圓六十錢

▲同上等白米 廿九圓七十錢

▲同(當二) 廿九圓九十錢

▲元山大豆 十八圓六十錢

▲同 十八圓七十錢

▲水原大豆 十八圓

◎南大門の廻穀

天安叺 一九四叺 水原白米 二〇叺

安東小豆 八〇叺

仁川正米

生魚市場

▲釜山水產市場(十九日)

仁川期米

▲二十日前場(暴騰)

三十錢と一錢高に

寄付きたるも利喰に

大阪天候前寄 二十六圓六十四錢

更に三錢と新高

值に沸騰

▲期米暴騰す

仁川米豆取引所 大五仲買店 店主 豬飼政太郎

三期共新高値に暴騰

其筋の干渉あり

市場雜觀

仁川米豆取引所仲買人 圓 仲買店

仁川米豆取引所

二十日の八月限

北濱たより

▲大株と大新

▲東洋汽船株

仁川米豆取引所仲買人 仲買店

小賣白米

現金賣

一等白米 二十八錢

二等白米 二十七錢五厘

閨秀碁界の覇者文子嬢來る！

◆現代女流碁客中の第一位 ◇今古獨步の盛名高き四段喜多文子女史 ◆昨夜入京山本旅館滯在中 ◇在京同好の縉紳連數十名手に唾して起ち ◆來る廿三日（日曜日）夏木立新綠凉しき料亭◇白水樓の別館に開催する事と確定

喜多四段歡迎圍碁大會

規定

△二十三日午後一時より開會▲同好參加御希望の縉紳各位は△明治町二の裴會所紀本龍太郎氏▲又は京城日報社營業局△便宜至急申込ありたく△會費は金五圓當日御持參を願ふ

後援　京城日報社

大連より

○大連市に於ける凡ゆる生活費が日を追ひて無比較無當に騰貴し一般居住民をして大連市の生活を不安なりと感せしめつゝあり近來內外各地共に物價の異常なる騰貴は止むを得ざる財界の事實として之れを承認するも大連市に於ける物價釣上げの如きは凡て人爲的にして一部商人の盲目的貪慾の結果に外ならず其筋に於ても一般市民の爲め此等强慾の徒を戒め物價の調節を圖るの必要あるべし

○殊に大連市に於ける家賃の頻々たる引上げの如き既に安じて住むに堪へざるものあり唯奈何せん市內家屋の不足は依然として一戶の明家をも發見する事能はず現家主の暴虐を憤ると雖も去つて他に移るべき家なく彼等の意の儘に其横恣爲すが儘に委して生血を吸取らるゝの他に途なきなり然らざれば大連市を去るの他に方法なきなり斯くの如くにして猶且つ彼等の爲すが儘に放任するは自由主義を誤りたる政策なり一般生活を餘りに無視したる皆大名政治なり

○政策と謂ひ政治と稱す一小都市の問題に餘りに大袈裟なれど大連市を始め殖民地各都市は何れも皆人爲的に建設せられ人爲的に發達し來り內地各都市の如く歷史的自然的に發達し來れる都市に非ず之れ當局者が最も意を社會的に注ぎ常に一般市民の爲めに生活の調節に企業の指導を與へざるべからず將來に於ける市街の計劃擴張等勿論必要なるべきも現在に於ける市民に生活の安定を與ふる事は更に急要なる問題なるべし

○勿論大連に於ける市民の收入は他の都市に於ける人々の收入より大なるものあるべし然れども物價及び特に家賃の高率及び値上の頻々たるは全く想像以上にして家屋の拂底より起る居住難と家賃の騰貴より起る居住難の愁聲市中に充滿せり之れ大連市として重大なる問題に非ずや少くとも大連市をして發展せしめんとする當局に對しては重大なる問題なり吾人は當局者が此の間妙策あり此の居住難に對し應病與藥的救濟を與ふるものと信じて疑はざるものなり

○大連市に於ける家賃値上は實に突飛にして世間に例を有する如き生優しき値上げに非ず三十圓の家賃が一躍五十圓となるは未だし百二十圓の家賃が二百圓九十圓の家賃が一度に百九十圓となりたる例少からず而かも値上前の家賃も本年に入りて二三割は舊家賃より引上げられたる上なりと云ふに至りては他地方に在りては殆ど語りて信ずる者なき程度なり斯くの如き事を知らざる暴利貪慾者に對しては當局者の制裁に依賴するは勿論なれど市民としても亦相當の對抗策を講じて可なるべし（十七日）

◎借款＝三種

（內三種は成立＝一は研究中）

最近北京よりの報によれば日本側對支那政府の借款左の如し

◆吉會鐵道と借款◆　支那政府と西原龜三氏との間に交涉されたる吉會鐵道二千萬元借款調印されたり同借款は曾て一箇月以前西原氏入京と同時に交涉されたるものにして或は煙酒借款或は地稅借款と種々の說傳へられたるが右は全く吉會鐵道借款の誤傳なりしこと判明せり同借款の條件は尙ほ不明なるも近く發表の期あるべし

◆龍氏と三井洋行◆　龍濟光と三井洋行の間にて進行中なりし軍資借款は馮總統と段總理の商議の結果已に承諾を與へたれば數日中に調印を見るべく其の條件左の如し

（金額）五百萬元（手數料）百萬元につき五萬元即ち手取金九十五萬（擔保）廣東瓊州島（期限）十年（目的）兩廣振興軍費（當事者）三井洋行と瓊崖鎭守使龍濟光氏

◆吉林の銅鑛借款◆　吉林孟督軍は吉林省境の某銅鑛を擔保とし日本某商行との間に百萬圓の借款を訂結し同草案を國務院に送附し來り國務院は直ちに財政農商兩部に交付したり目下兩部にて研究中にて未だ可否を回答せざるが結局許可さるべし（北京）

◎支那幣制改革に就て（三）

於大連商業學校　阪谷芳郎男講評

支那の現狀は內治、財政、軍事、外交共に困難の極點に達し何人をして之を看せしむるも悲觀せざるものなし然れども予は支那政府當局者に語つて支那の現狀に就て必ず失望落膽せざる事を勸め曰く支那の現狀は如何にも困難の極に達し居れども之れを明治維新の日本の改革新政當時の困難に比すれば支那今日の困難は未だ物の數とするに足らず支那は國土の面積甚だ大にして斯くの如き大領土に亙る革新の困難は勿論容易ならざれど之れを維新當時の日本に比すれば凡ての點に於て新機運に乘ずべき根蒂を有し其の向はんと欲する方面に向ひつゝあるは爭ふべからざる事實なり支那に於ける革命は古來屢次繰返へされたるが眞の革命は即ち民國元年にして今日に至り僅かに七年の歲月を經過したるのみなり此の七年間に於て革命の支那は何を爲したりやと云ふに新らしき支那は舊滿淸の舊政を破壞し又支那人に猾疾たる守舊思想を一掃したり之に於て其の革命は第一期を終りたり即ち革命の所以たる第一期の破壞は遺憾なく之れを成し遂げたり今後は第二期の新時代建設の時期に入れり而して建設は破壞の如く單純なるものに非ず其の成就には幾多の歲月と困苦とを經ざる可からず今支那は即ち此の第二期建設時代に入りたり日本は明治元年の改革により舊時代の破壞と共に新時代の建設に從事し行ゆる困難に遭遇しつゝも其の革新は漸を逐ひて順調に成就せられたるが猶改革維新を經て十年後に西南戰爭の大內亂勃發したり此の內亂は明治革新の元勳が反旗を飜したるを以て新日本に取りては最も重大なる國運試練の時機に際會したるものにして實に國家は危機一髮の狀態に在りたり支那に比して面積人口共に遙かに狹少なる日本に於ても猶且つ其の革命には十餘年の歲月を費し其の改革維新を成就したるは明治二十年なりとす然るに支那は其の國情に於て其の國民訓練に於て日本と異り且つ日本の面積人口に比し幾十倍の廣大なる國土を有せり其の革命が一朝一夕に成就し得ざるは當然の事なりとす民國元年より今年迄僅かに七星霜を閱したるのみ其の革命又僅かに其の緒に就きたるのみなる亦當然の事と云ふべきなり況や幣制改革が一朝にして俄に實現せらるべしとするは餘りに事を輕々視するの嫌あり日本は明治革新と共に造幣局を設け幣制改革に着手し從來の銳意改革實に三十年の長日月を閱し明治三十年に至り始めて金貨本位の幣制を實施するに至りたり支那政府に於ても亦幣制改革に就て充分の調査と熟慮とを遂げ今日より一歩々々幣制の整理に當るべく既に着手せらるゝに及びては政府は非常なる大決心と大覺悟とを以て其の事に當るの信念を有せざるべからず（未完）

◎何でも値上＝苦力まで

滿洲にて本年は例年に比し苦力の拂底少かりし上に各方面の工事勃興し且つ農家の手不足の關係より苦力の缺乏を來し其の賃金最低は昨年二十錢乃至三十錢止まり位なりし苦力は昨今五六十錢若くば以上を呼ぶに至り而かも之れが加入るゝ事容易ならず農家及び土木業者は大恐慌を來し居れり（長春）

◎鐵道線測量

◆城津市街地附近にて◆

去る五月中旬滿鐵京管局より出張して城津市街地附近より着手し始めたる鐵道測量は既に大體の測量を了したるに本月十三日更に十二名より成る測量班京城より到着したるを以て諸準備を整へ六月二十日頃福井青木兩技師以下二十二名の一行は城津を出發し摩天嶺の峻嶮より端川に至る十三里間を二組に分れて測量し八月中旬若くは下旬迄に城津に引揚ぐる豫定なりと（淸津）

◎日本の軍事郵便は歐洲以上に成功

◆佛國は顏色なからん◆

米國から佛蘭西に渡つて歐洲戰爭に參加してゐる米國の軍隊に於ては一萬二千人の軍隊に對し熟練せる郵便取扱者が一人で故國からの手紙を配布してゐるさうだ、處が米本國から佛國に在る軍隊までは普通郵便の米國から佛國に來るのよりも二三週間も遲れるといふ。そこで戰地の軍隊から（一）米國から手紙と同時に出發した人が佛國に着いてから二週間も後れて軍人の手に渡つた（二）米本國から佛國迄十二週間を要した（三）一ヶ月も後に死んだのに其手紙は死んだ後に受信人の手に渡つたといふ樣な戰事郵便物遲延の具體的事實を擧げて陸軍大臣に詰問したら陸軍大臣は故國からは普通郵便と同時に出すが戰地に著いてからは戰事郵便の手によつて配達される方法を取るので普通郵便よりは早く著かねばならぬ譯だと答辯してゐるさうだ、それに比べると日露戰爭當時の日本の軍事郵便は成功したもので內地よりの通信の迅速なりし爲め兵士が何の位ゐ之によつて慰安されたか知れぬ、現在の歐洲戰爭に參加の各國軍隊が此の郵便の遲著に苦情を並べてゐるとは餘り個々銘々に戰爭ばかりやつてゐずとも日本の郵便法をも見習ひに來たら好からうと赤いポストが呟いてゐる（平壤）

◎溪城線延長か

◆小田に鳴く蛙の聲を聽きつゝ佳延の與望に合する溪城線の前途如何なる試みなりと待つ◆

本溪湖を基點とし城廠を終點とすべき溪城線路線は目下の處本溪湖中心臺坦に輕便鐵道敷設し運輸交通の衝に當りつゝある近來運輸部側にては該線路の延長を主張するもの多くなりつゝあるものゝ如し殊に工事の遲延は恐いては既得の權利を無効ならしめんとするの恐れあると共に現地との關係漸く頻繁を加へ且つ開拓を要するものあるを以て此の際萬難を排して建設を進めんとするものゝ如くなれども一面現今は建設費に於て戰前に比し多大の增大を來したる上材料蒐集に困難なれば或は是れ等主張者の意圖の全部を實行するは困難なるべければ何等か此の間に調節方法を講じ或は現敷設の輕便線を廣軌式に改築するは左程の困難なかるべければ廣軌式となし是れに中輕便線を接續延長せしめんとするものゝ如し、或は前記の方法に依りて延長工事の開始を見るべきか

◎松と砂糖と苹果

京義線黃州にて　八島生

黃州普通學校組合にては保護貯蓄組合に在りて當時組合基金を作る目的にて土地を東に距る一里半の愛山二百六十四町步に向ふ十五箇年契約にて總督府より無償にて借受け一面に松樹を植付け約六尺に成長の今日之が處分問題起りし折柄平壤片山林業部より松樹拂下の申込ありしが爲め道般委員付を開き實地踏査の結果年々一千圓の松樹伐採して向後に二十五箇年間繼續するを認めたれば當分現在の儘となし置く事に決定せり

又普通學校組合が其の經營として黃州に求むべく去る四日より試作中なるが成績頗る良好なるより或は最後三千町步の植付を見るに至らんかと噂致し候猶て加へて本年は同地產物の一たる苹果の成熟頗る良好にて昨年の一萬箱に對し本年は十八萬箱を得る見込從つて好景氣に御座候

◎忠南の瓮岩浦市場

忠南洪城郡瓮岩浦は廣川市と相接し西海岸唯一の要津なるが大正二年水產市場を新設したりしも營業者との間に紛擾起り一時市場を閉鎖したるが郡廳、警察署の援助により大野孫次郎氏を組合長に推し整理に任せしめ漸次秩序整ひ資本二千七百圓に對し大正四年六千圓の水揚高を示し大正五年一萬九千圓、大正六年四萬千圓となり本年は六萬圓に達すべき見込にして將來は貨物自動車を運轉して天安方面に直送する計畫あり本年の如きは內地輸送旺んなる爲神の買出し困難なるも尙如上の水揚あり此水陸の運送機關完備せむか十萬圓乃至二十萬圓に達すべし（公州）

◎紳士體操と淸州

目下敎育研究會に於て獎勵せる福岡醫科大學敎授櫻井博士の案出に係る紳士體操を十七日午前六時より唐菜山頂に於て傳習せり講師は淸州公立小學校藤訓導なり（淸州）

◆蛙の聲を聽て佛延◆

農信

◎仁川附近麥作◎

（良好にて平年より二割の增收）

仁川府管內に於ける本年度麥作は其の收穫は百四十八石と豫想せらるゝが其の作付に相當する十六町五反の作付に比すれば實に五割の增收にして之を平年作に比すれば其の約一町五反を擴大せられたのだけ增收は五割七分強に當れりと本年は播種後の生育頗る順調にして冬期に於ても亦寒氣激甚ならず本春以來は殊に降雨屢々ありて頗る順調の天氣なりしを以て發育殊に佳く結實狀態亦近年稀なる豐作に任るが如しと

赤門印　人參規那鐵葡萄酒

朝夕一杯は身體を肥し疲勞を醫す

◎身體貧血せる人◎生來虛弱なる人◎食慾缺乏せる人◎精力減退の人

◎產後病後に衰弱せる人◎萎黃病の如き血液疾患の人に好適の飲料也

到る所の食料品店にあり

發賣元　大阪　小西商店洋酒部

精米麥機　一日拾俵搗　天下一品

本機は運轉輕快一日十俵精白なる天下一品、良優是非實地試驗を乞ふ　詳細說明書申込次第送呈

大阪市北區上福島一丁目梅田橋　砂川製臼所精米機部

一千限り　高貴織

正金代用金指環進呈

高貴織が二圓七十錢で買へるとは過去七年間の高き今日嘘のやうだが現に東京日本橋區本石町一丁目に評判を取つた東京屋呉服商店が最新流行の高貴織を前記の廉價で投賣し規模つゝあるが日々羽根が生へて飛ぶ樣に賣行く物に負けぬ上等品でタツタ二圓七十錢特別上等製三圓廿錢と云ふ一寸も大安賣りの大賣出しの記念として一千人の方に限り金色不思議の金指輪を一個無代進呈をなす由同店へハガキにて女の方の御希望者は同店へ御申込の事

當店內にて指輪の寶石拾得致し本町警察署に屆出置候心當りの御方は御申出可被下候

京城　三越吳服店

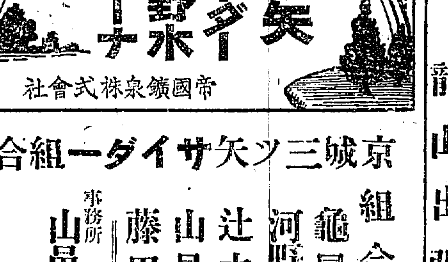
帽子原料卸商　大阪高麗橋東詰

蘭　賣買入札開始

六月一日より每日（自午前九時至午後六時）

右精々勉强御取扱申候間多少に拘わらず御出荷相成度廣告候也

釜山南海蘭絲商會　龍山出張所



京城三ツ矢サイダー組合

組合員　龜屋商店　河野出張所　辻本商店　山邑支店　藤田商店

事務所　京城明治町　山邑京城支店　電話八四九番　振替貯金口座一四四九番

大阪本店移轉廣告

拜啓弊社大阪本店左記の場所に移轉仕り一層誠實に擴張營業致し候條何卒倍舊御用命仰せ付被下度御願申上候　敬具

銅、鐵、船具、機械、工具、塗料、油脂

大阪市北區西野田龜甲南ノ町　合名會社泉工業本店

長電話土佐堀二五、二六六、五五番　振替口座大阪一二九、二九番

出張所　東京市芝區柴井町十八番地　特長電話芝三六〇一番　長崎市大浦海岸通り九番　特長電話一六二七番

工場　大阪府下西成郡千舟村大字大和田　電話土佐堀二九〇七番

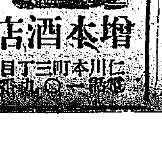
追伸　南區櫻川町三丁目從來の營業所は工事部として相變らず在置致申候

旅行具專業　岩田鞄店　京城本町二丁目（電話九五四番）

產科　婦人科　京城御成町　電話一〇一番

醫學士　二宮亮吉　二宮醫院

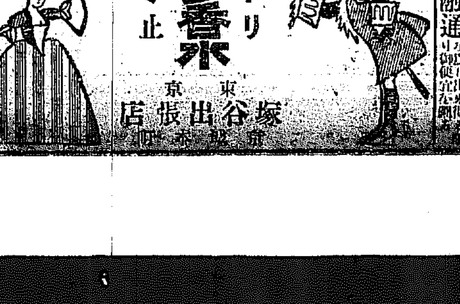
天下一品　白鶴



增本酒店　仁川本町三丁目　電話一二九番

質　大塚質店　京城明治町二丁目元院　電話一八四

◎職業すべき火災の防範に適當なる完全倉庫
◎多額の融通



東京　塚谷出張所　京城本町　販賣店

菓子職工入用　希望者は手紙にて交涉られ度但し生菓子、燒物、煎餅經驗有之者　京城安東縣四番地　大山　本町六丁目

南山商會主篠田玄一儀旅行中の處途中開城の旅舍に於て本月十九日午前五時急病に罹り死去致し候間此段生前辱知諸彥に御通知申上候　追て葬儀は來る二十三日午後三時光熙門外自宅出棺若草町東本願寺に於て相營み可申候

大正七年六月廿一日

男　篠田富士男
同　美孝
同　東治郎
同　貫通
高野省三
小山庄三
小澤光義
廣江澤次郎
谷雄太郎

親戚總代　友人總代

當會社支配人篠田玄一儀本月十九日午前五時死去致候に付き此段御通知申上候

大正七年六月廿一日　京城工業株式會社

仁川期米

◇二十日後場　大阪電報米着にて中限二十三圓六十五錢先三十八錢安に寄付

◇中限一節二十三圓六十五錢二節六十五錢七十錢平均値段六十一錢　三節五十五錢四節六十二錢五錢平均値段六十五錢

◇先限一節二十三圓三十八錢

二十日　二十三圓三十八錢　二十三圓二十七錢　二十三圓三十八錢　二十三圓二十五錢

廿二日　廿三日　廿四日　廿五日　廿六日

廿三日　廿四日　廿五日　廿六日　廿七日

發表後一週間以內に到着又は同樂施見通告者には五十錢當籤券を呈す但何番何號と明記に限る▲宛名は京城日報編輯局聯文藝係者

塚原卜傳

悟道軒圓玉口演

第百十二席

塚原小太郎カラ〳〵と笑つて『小際がは畜生身の程を知らず小癪なる一言、イデ〳〵一矢の下に其咽喉笛を射碎いて呉れんず』と引絞つたる矢先きを娘の胸へ押當て、今や切つて放たんとする、おとよ小才治は驚ろいて 兩『小太郎樣、狐なら能うございますが間違へて娘を射殺しては困りますから……』 小『イヤ決して心配なさるな、狐を射殺すので 兩『それでも狐は見ゑません、那所に居るのは娘ですから……』 小『イヤ拙者には狐が居るのが宜く判ります御安心なさい』といつて滿月の如く引絞つた、娘は冷笑つて き『サア射殺せ、射殺せるものなら早く射殺すが宜い、妾は固より翔通自在の身、其矢が飛んで來る中には飛去つて了ふ、汝の矢先きに落命をするのは此娘だ、サア早く射ろ』と傲まで罵しつて居る小太郎少しも猶豫なく 小『覺悟をいたせ』と一聲叫んで兵弗ッと切つて放したる矢先き、狙ひは外れて娘の倚掛つて居る布團の眞只中を羽響き高く射通した、ギャッと一聲悲鳴を擧げる、娘の身躰は撞と横に打倒れて其儘絶息いたしました、小才治さてはと心付いて飛込んで右の布團を取つて見ると其下に一匹の老狐、咽喉から首筋を一矢に射抜かれて血に染んで仆れて居ります、アッと驚ろいた小才治おとよ 才『イヤー老狐が此所に隠れて居りました、何うして小太郎殿御存じで……』 小『察するに逃はず布團の下に隠れて居たか、叔母上には早くおきよ殿の介抱をなさるやう、一時絶息はしても決して命に別條はござらんから……』と言はれておとよも其れに仆れて居るおきよを引起し、藥を飲ませ水を飲ませ と『きよや、〳〵確かりおしよ』と呼生けると間もなくおきよはウムと一聲氣が付いて起上つたが身體鵜の毛で突いた程の瑕もなく、眼をパッチリ開いて四邊を見廻し、宛然夢のさめた如く き『お母樣でございますか、妾は今まで夢を見て居りましたやうで……』と言ひさして母親に取縋つた、おとよの喜びいはん方なく と『之れといふのも小太郎殿のお蔭げ、命の親』と泣いて喜ぶ、小才治も 才『實に小太郎殿は武藝の神、恐れ入りました、どうして狐の隠れて居る所ろを御察しになりましたか』といふと小太郎 小『總て狐狸といふものは悪いたといつても肉に喰入るものではないそうで必らず傍に隠れて居るものだといふ事を我師上泉伊勢守殿から承はつた事がござる、今おきよ殿の音聲を聞くに聲は布團の中から響くやうに思はれたからそこで一矢を放つたが幸ひにして老狐を射止めて此上の喜こびはござらぬ、之れにて拙者も叔父小太夫殿の仇討をいたしたやうなもの叔母上にも小才治殿にも御安心なすつたが宜しうござる』といはれて母子も一度は驚ろき一度は喜こび小太郎を尊敬して改めて禮を述べ娘にも禮をいはせる き『小太郎樣でございましたか何とも御禮の申上樣もございません』と手を突いていふ言葉も最早常人と甦りはないから小太郎も安心いたし、さて右の狐は死後も祟りがあつてはならんと一祠に祀つてお遣しなさいと小太郎の注意に小才治尤もと思ひまして玆で庭内へ死骸を埋め上に宮を建て丶一祠の神と祀りました、用人原田孫右衛門初め召使ひ一同も實に小太郎の神に通じたる武藝を舌を捲いて感嘆いたしました、此事いつか召使ひの口より洩れて近隣の評判となる、然るに當時江戸城の主は北條家の旗下なる遠山丹波守といふ人で此人豫て北條家の近藤出羽守より頼まれて居りますから内々心掛けて塚原の行方を尋ねて居つた所、此事を聞いて大に喜び、小太郎を呼寄せて手段を以つて之れを討たんと圖る小太郎大危難の一條は次席に……。

あなたの酌で
座をつつ拍手
木村屋アンパンコロ〳〵と
（京城明治町 電二八七〇）

涼しい浴衣地
㊂ まる三吳服店
京城本町二丁目
電話一五七（振替京城二五）

六月廿一日 九星
舊五月十四日 庚子
本命九紫 南破 赤口

[illegible]

演藝案内

浪花館
明治町二丁目
電話二六〇番
六月九日より開演
京阪落語々樂會一行
△落語（小遊）▲落語物まね（遊玉）▲落語手踊（遊生）▲落語音曲（笑三）▲落語音曲（花輔）▲浪花節（水戸黄門）（幸二）▲落語手踊（右圓遊）▲大切喜劇（座員總出）

有樂館
電話（落下）[illegible]
早川演藝部直營
活動寫眞常設館
[illegible]
▲新派人情劇『若き生』全四巻
▲人情活劇『黑い手』二名娘の行衛
▲實演『軍學と監督』三場
[illegible]

均陵庵
京城永樂町
困る方唯見ます、高し流でなし、胡魔化人氣陵でなし、一時人も欺かず、己も明整々堂々、旗色鮮板天氣豫報、活た犀

大正館
櫻井町
電話八七三
[illegible]
◎人情活劇『冒險氣球』五千呎
◎新派活悲劇『忘れ子』全四巻
[illegible]
◎新派活悲劇『二ッ蛇の目』全四巻
[illegible]

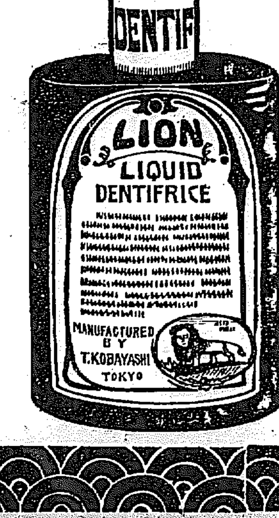
壽館
京城本町
電話一〇五〇
旭扇會支部第六回温習會
六月廿一日午後六時より
[illegible]
○滑稽活劇『デブ君と活動』
○義民の鑑『佐倉の曙』三百五十場
[illegible]

黄金館
電話二六三七 二三六六
天然色活動寫眞株式會社京城特約店
▲實錄舊劇『お俊傳兵衛』全三巻
▲探偵大活劇『ミスタングット』
[illegible]

一番よくきく
龍山林藥房製劑
マラリア特効丸
藥價表 四粒入金十錢 十四粒入金三十錢 二十五粒入金五十錢 送料金貳錢
（ニセモノあり御注意）
龍山元町二丁目
本舖 林藥房
京城本町 代理店 合資會社 山岸天佑堂
釜山辨天町 同 大黒南海堂
平壤大和町 同 森川草藥堂支店

山縣五七郷村上唯吉共著
富の道しるべ
價十五錢
郵税二錢
京城本町通 振替京城三〇〇番 日韓社代理

齲歯は
油斷から起ります。
完全に齲齒の豫防をするには、食後と寝前にも歯の掃除をするが大切でございます。それには
ライオン水歯磨で
含嗽をするのが一番手輕で有効でございます。



ライオン歯磨本舖
ライオン石鹸本舖
東京市本所區外手町 小林富次郎
支店 大阪市東區内本町一丁目
名古屋市中區南大津町
[illegible]
(950 7)

お湯上りに一滴……（清々しく）
ホンノリ色白くなる

レートフード
こうして附けると
一層よくきゝます！

◇レートフードは非常に精分が強い上に最近發見の新美容素は地肌へ直溶け込むで、お肌を根底から整へますから、お使ひになる際、よく瓶を振つて頂くと一層効顯が的確で、毛孔を開いてお顔を柔軟に自然の美くしさにホンノリ色白くなります。

◇レートフードの效顯は、脂汁の滲む此節最もよくお分りになります。それは滲み出る脂汗を留め、日焦けを防ぐ上に、お肌をサラリと自然の白さに致しますから、此頃の素化粧料、隠化粧料として實に天下一品で厶います。

東京 平尾賛平

汽車發着
京釜線（南行）
[illegible]
京釜線（北行）
[illegible]
京義線（南行）
[illegible]
京義線（北行）
[illegible]
京仁線
[illegible]
京元線（北行）
[illegible]

京城日報
第五版
二十一日朝刊（朝夕刊を併せて八頁）

◇二十日後場 大阪電報未着にて中限二十三圓六十五錢先三十八錢と三錢安に寄付 [illegible]

本紙定價 [illegible]
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社
發行兼編輯人 奧田 [illegible]
印刷人 小川 三之介

支那文學の變遷

（十二）今關天彭氏談

兎にあれ角にあれ桐城派の文章は大流行を極めたものであります。[illegible]駢體の文章の方になると、種々[illegible]袁枚[illegible]洪亮吉などいふ文士が[illegible]されたのであります。一昨年の[illegible]十月頃死した王闓運（壬秋）も亦其の[illegible]たるもので御座いました。[illegible]詩の方は怎うであるかといふ[illegible]國初から乾隆の間に袁枚（隨園）[illegible]沈徳潜（歸愚）な[illegible]ある。袁枚は性靈を[illegible]といふことは何事にまれ[illegible]はないといふて居る位[illegible]ります。又翁方綱になる[illegible]一派の時風が流れて餘り空[illegible]來るのを憂ひ、色々な實理を空論の中へ攙入して、其の弊に陷るを救はむとしたが、一言一句實[illegible]を擧げ理を述べようとすると却て詩の方では面白くないものであります。其處でこの人の詩風は餘り行はれずして沈歸愚が詩界の大立物となつて居つた。夫れは沈歸愚の詩は、古詩は漢魏、近體は盛唐を主として、容鑑にも拘らず亦唐實を羅列するの弊に陷ることもなく、偏せず倚せず中庸を得て居つた爲めであつた。門下には見るべきの詩人が多かつた。孫弟子に當る黄仲則といふ人があり、兩當軒集を作つたが、年少にして歿した。併し日本に於ける明治詩壇の詩風はこの黄仲則に負ふところが多いのであります。この時代には色々な詩人が出て居るが、舒位（鐵雲）孫源湘（子瀟）呉錫麒（穀人）などが其の中の最も優れた人であらうと思ひます。詞の方も亦却々進歩いたしまして、張皐文といふ人の派の常州詞人が最も盛であります。此代となると、駢文體即ち新聞體の文章を書く人は康有爲、或は梁啓超、或は章炳麟などが有名であります。が、一づかみに申すときは、南方には駢體の文章が流行し、北方には桐城派の文章の幾變化したものが流行して居る有樣であります、而して將來の文章は駢體の文章と桐城派の文章と報章體の文章との合一し變化した文章が流行することゝなるのであらうと思ひます。支那文學變遷の狀態は大體こんな話で終つて置きます（完）

近世日本國民史

桃 翁

○我が敬慕する蘇峰先生は、今回一日より、國民新聞紙上に連載せらるることとなつた。先生の斯業は、實に文章報國の抱負に基きて、荒廢せる我が國民の精神界に、一大光明を與へんとするものに外ならぬのである。吾人は、今日に於て、我が國民が、此の善を熟讀體讀して以て、我が日本魂の涵養に資せんことを熱望して已まぬものである。

○此の近世日本國民史は、筆を元龜天正の三巨人たる、信長、秀吉、家康に起し、維新の大業に及び、明治の聖世に終るのであるが、明治天皇の御宇に、其の滿腹の精神を傾注せらるべしとのことである。惟ふに吾人は、先生獨特の筆法に依りて、我が日本に於ける帝國主義の歷史を知り、明治時代に於ける思想及生活の變遷を察し、我が帝國の使命を自覺し、更らに將來に對する國民の大理想、大抱負、大努力を感得することが出來るであらう。吾人は、世著の國民紙上に顯はるゝを、大旱の雲霓よりも待つものである。

○世界大戰亂は、吾人に向つて日進文明的科學應用の、勝敗の數に大關係あるを敎へた。更にまた氣が、勝敗を決すべき要素たるのみならず、時としては、兵器の不足、兵力の不足をも、勇氣にて補充するの實例を示した。而かも我が國民は、精神的に於て、實に半死半生の病人の如く、志望も氣力も大に缺乏して居るの感がある。是れ實に文明と富强とを以て、世界の第一流國たらんことに急にして、根本土臺たる日本魂を閑却したるに基因するものと謂はねばならぬ。

○蘇峰先生は『日本魂なき學問は所謂佛作りて、魂を入れざる偶像也。日本魂なき才能は猿智、牛力の類に過ぎざる也』と、道破された如く、何物を失うても失ふことの出來ぬのは、我が日本魂である。何よりも大切なるは、我が大和魂の[illegible]本帝國の隆替消長は、日本魂の隆替消長である。若し日本國民にして、此の日本魂即ち忠君愛國の精神を失墜せば、是れは帝國が精神的に滅亡するものと謂はねばならぬ、而して其の忠君愛國は積極的のものたるを忘れてはならぬ。

○之に反して日本國民が、若し日本魂を各自に充實せしめ、而して後機宜に應じて、發作活動せしめんか、各々其の好む所に從つて其の向ふ所を定むるも、如何に反對の方向に分馳するも、其の根底に於ては、日本國民として、忠君愛國の中樞に於て、必ず一致點を見出すであらう。斯くて國民的の統一を見れば、世界を敵とするも、決して畏るゝに足らぬのである。

○國防充實に就ての議論は、今や朝野に共鳴が高いのであるが、日本魂の涵養に就ては、殆んど何人も噯にだも出すものがないやうである。是れは、日本魂既に充實して、之を涵養するの必要なしとするのであらうか。吾人は滔々として新奇を趁ふの風旺にして、動もすれば忠君愛國など、黴臭き說法は御免を被ると云ふやうな人物の我が日本に遍滿しつゝあるを見て、竊かに寒心せざるを得ぬのである。

○此時に當りて、獨り我が蘇峰先生は、時務一家言、世界の變局、大正政局史論、大正の青年と帝國の前途等を著して、平民主義、國家社會主義、皇室中心主義等を唱道して、日本魂の涵養に、渾身の肝血を絞り、今また近世日本國民史を著して、我が大和民族の精神的食糧とし、我が大日本帝國興隆の不盡的源泉たらしめんとに務められつゝあるを見て、吾人は、國家百年の爲め、慶幸せざらんとするも能はざるものである。

並行線

（十四）瀧 閑村

善い程に酒を終り、飯を終つて三人は話に耽つた。宣太郎は遠慮も氣兼もない此静な家庭に融込んだ如く、何時になくゆツたりした氣分になつた。どちらかと云へば無口な眞介と宣太郎との間にはお夏も無くてならぬ扱子だつた。

『學校は靜でいゝね、それに生徒が大きいから小學校ほど骨も折れまいし』と宣太郎は忙がしかつた過去が何物をも顧さなかつた事を考へて、寧ろ羨ましく思ひ乍ら云つた。

『さう、其代り小學校より面倒な厄介な點がありますよ、もう無邪氣で無いから』

少し笑ひ乍ら

『それに學校の教員も困りますね少し世間から離れると時世に疎い偏人見たいになるし、さうかと云つて世間に近づくと金が欲しくなつたり、旨い物を食ひたくなつたりして………』

『成程と』頷いた宣太郎は、お夏に向つて

『兄さんは今銀行の勸誘か何かしてゐられるやうだが、此頃の暮し向はどうだね、子供も多し、中々大抵ぢやあるまいね、一體どの位收入があるか、お前は知らないか。』

お夏は夫の顏を一寸見て

『さうです、中々大抵ぢや無いでせうよ、私の家が二人限りで此收入でもうツかりすると足りなくなるのから考へても………』と少し躊躇し乍ら

『時には私もどうしてやつて行くかと、不思議に思ふ事もある位です。どうか大兄さんももう少し何する口があるといゝと思ふけれども。』

『さうだらう、お母さんが來ると云はれりや、お母さんは私の方へ引取つてもいゝが、朝鮮ぢや却つてお氣の毒だから。』

斯う云つた宣太郎の眼には、朝鮮に於ける自分の新家庭が見えた。

『私も實はいつ迄獨りで居る譯にも行かず、朝鮮にそんな話もあつたがね、自分の仕事の關係もあり、まだ何とも極まらないけれど。』

お夏は少し勢付いて

『それは結構ね、實は私のお友達や何かに少しは心當りもあるけれど、朝鮮と云ふと話が面倒だもんだから………早く嫂さんが出來れば、いくら嬉しいか知れない。』

『でも朝鮮ぢや一寸話にも來られまい。』

『それはさうだけれど、それでも結構、こんな事を云ふと變ですがお父さんが亡くなつてしまふと、何だか大兄さんが他人らしくなつて、私はどうせもう池谷の人ぢやないのだけれど、變に心細くなるんですよ』と思入つたやうに云ふ。

『そんな事もあるまいサ。』と宣太郎は事も無げに言つたが、心の中では父と云ふ紐で續付けられた兄弟が、其紐の斷れた後バラ〳〵になるべき運命を否むことが出來なかつた。兄は人の夫で人の親である。妹は人の妻である。自分は孤獨になつたと云ふ感じが深く胸に觸つた。

『お父さんは善い人だつたね。』と宣太郎は可懷かしさうな眼付をして、誰にとも無く斯う云つた。外には二三匹の蛙がコロ〳〵啼き續ける。

漫賦

小槻 金枝 道三

時事唯嘗勞俊髦。政爭何必管諸曹。山莊也索前人句。閑倚梅花誦楚騷。

蓉堂曰、倚梅花、誦楚辭、其高尚不可企及也

次蓉堂先生見寄韻二首

天樂 竹內 正志

湖北風烟春葬間。春殘書劍將時還。知君飲馬松花水。只見平沙不見山。

蓉堂曰 我北游松花江有詩、天樂老兄次韻以被贈、而余既去不獲見、東游招宴、酒間見示、纏帶風霜、老氣橫秋、一唱三嘆

游人邂逅舊山河。國破城存奈恨何。行過將陽殘月冷。胸聲掠樹落花多。

蓉堂曰、此篇次余奉天府詩韻者、感慨淋漓使人哀痛

夢梅

城南 小久保喜[illegible]

林下歸來夜掩窓。殘寒如水酒盈缸。香風吹入三更夢。春月梅花笛一腔。

蓉堂曰 風調流暢誠絕唱

（◇雜[illegible]抄）

◆財布は各國人によつて入れ所が違ふ

◇飛んだ間違ひ 西洋人は洋袴の衣嚢にサラ〳〵お金を入れてゐるものだと定めてゐると飛んだ間違ひです。お金の入れ處一つで彼の人は何處の國民だと見當が附く位、各國人で特色があるのですもの、まづ

◇英國人は金貨、銀貨、銅貨取り交ぜて洋袴の右の衣嚢に入れてゐます。そして要る時にはそれを掴み出して、大びらで撰り分けます

◇佛國人は普通の革の巾着に入れて滿足してゐます

◇獨逸人は緞子などに派手な縫取りをして貰つて紙財布へ入れて得意になつてゐます

◇米國人は細長い紙入の中へ紙幣を後生大事に納び込んでゐます

◇伊太利の下層社會の連中は綺麗な色の手巾の中に包み込んで身體の何處かへ蔵つて置きます

◇露國人は好んで靴の中や、著物の襟へ隱してゐます。さて

◇日本人は之は御存知の通り・只袂の中[illegible]へ入れてブランブランさせて置き掏摸に掏られるなどは褒めた話ではありません（少年倶樂部）

東京大相撲
木戸無料入場券
〔京城興行中何日目にても通用〕
東京大相撲京城興行中何處の店からでも……
サッポロビール―大瓶半打
御買求めの御方へは相撲木戸無料入場券壹枚無代進呈致します
サッポロビール釀造元
大日本麥酒株式會社
京城出張所

西伯利形勢暗澹
過激派軍の優勢=セ軍の進退難
支那軍の對抗=獨逸勢力の東漸

西伯利の形勢刻々危殆に陥りつゝあるは最早蔽ひ難き事實なるが如し最近某所に著せる情報に據れば一時勢力を挽回したる觀ありしセミヨノフ軍は過激派の壓迫に堪へず遂にボルジヤの本營を放棄してマチエフスカヤに之を移して主力はダヴリヤに集結するの已む無きに至りたるが更に同地に於て陣容を整へ攻勢に出づ可しと期待されつゝあるに拘らず形勢依然として振はず却つて過激派軍優勢を加へ殊に獨逸俘虜増加の爲め一時安全地帯に退却せざる可らざるの必要に迫り目下シヤランストン、マチエフスカヤ方面に向つて退却しつゝあるが如し而して支那側にては過激派軍の優勢に怖れセミヨノフ軍の滿洲里に入るを拒止せりと傳へられ斯くてセミヨノフ軍は進退兩難に陥り全滅の悲運に際會するやも測り難く斯くて過激派の滿洲里方面に殺到す可きは唯だ時機の問題にして支那軍是れに對抗し得可きや疑問無き能はず加ふるに夥に西部戰線に向つて去らんとせしチエック族五萬の兵は過激派及び獨逸俘虜の爲め進發を阻止され歐露より浦鹽に到る沿線に散在して過激派側と衝突しつゝあり西伯利の形勢は漸く險惡として獨逸勢力の其間に侵入し極東の安寧期し難ぎに於ては相當の自衞策を講ずる事は殊に緊切なる關係を有する帝國の考慮す可き處なる可しと(東京特電)

日支兩國出兵切望

東部西伯利に於ける反過激派軍敗衂の結果獨墺の勢力次第に瀰漫せんとする形勢に鑑み露國公使は十八日國務院に段總理を訪問し軍事協定に基く日支兩國の迅速なる出兵を切望せり(北京特電)

セ支兩軍早晩衝突か
支那官憲の要求とセ軍の困却

セミヨノフ軍は敵軍殊に獨逸俘虜増加せる爲め一時安全地點に退却し部下を休養せしむるの必要に迫られつゝあるが滿洲里支那官憲は北京政府の命に依りセミヨノフ軍に對し其部下にして國境通過の折合は武装を解除す可しと強硬に要求したるが直ちに支那領に入らざれば活躍無きセミヨノフ軍は此の要求に接して絶體絶命に陥れり尤も其他支那官憲はセミヨノフ軍の武器を滿洲里より戰場に送る事さへ妨害したるよりセミヨノフ軍と支那軍との衝突近かるべき模樣なりと(ハルピン十九日發)

龍軍備打合解決

龍濟光氏は武器軍備等に就き政府との間に解決を見たるを以て十八日夜天津に向け出發せり同地にて倪嗣冲氏等と打合せを爲し臨南の筈なり(北京電報)

臨時外交調査會

二十日午前九時より首相官邸にて前日に引續き臨時外交調査會を開き重要外交案件を審議し各委員午餐を共にして退邸したるが是れにて今回の重要案件に關する協議は終了したり(東京特電)

殖銀成立期

朝鮮殖産銀行法は既に制令を以て發布せられ將來會社創立に關する準備を爲しつゝあるが美濃部鮮銀總裁は山縣政務總監の意を受け近く東上東京に創立委員打合せ會を開き長谷川總督、勝田大藏大臣の出席を請ひ定款の作成、株式募集の方法等に就き協議する筈なるが其成立を見るは九月下旬なるべし(東京特電)

瑞典公使著任

東京駐剳瑞典公使ベルグストルム博士は廿日著任せり(東京特電)

松平東拓理事出發

松平東拓理事は廿一日午後七時東京驛發鮮滿店務視察途に就く筈(東京特電)

辭令

二十日左記の通り辭令ありたり(東京特電)

任専賣局長官(一等) 神戸税關長大藏省事務官 野中清

李王御展謁

李王殿下は既報の如く二十一日揚州郡孤盲面なる東九陵御展謁の筈なるが當日は午前八時三十分昌德宮御出門馬車にて御陵へ成らせられ御參拜の上午後三時同所御發德壽宮へ立寄られ六時還宮の御豫定なるが閔長官、國分次官以下武藤、田中、權藤の各課長扈從申上ぐべしと

大阪財界便り

……六錢と低落を報じ尚軟弱の見込也

△種油及原料菜種 十三……市場共品薄にて底敵れ相續き新種一時軟調……價格の騰貴せざる爲め搾業者は困……製造にて大打撃を蒙り居れり

△伊國の油脂禁輸……係並に運賃關係と相俟つて輸出杜絶の事情より分箸市況は氣乘薄閑居れる在荷の……品不足の傾向あるに因由すべきも……軟派の仕事にも依るべしと(大阪支局)

加奈陀名士の來遊

加奈陀トロント市に於て發行さるゝグローブ新聞主筆マクドーナルド氏は令閨及び二人の令嬢を同伴し二十日夜內地より到着約一週間滯在の筈なり同氏は加奈陀の政界及び操觚界に於ける第一流の名士にして其主管せるグローブは同國に於て最も有力なる新聞なり氏は近頃健康を害したるに由り保養の爲め日本に來遊し其序を以て朝鮮を訪ひたる次第なるがゲール博士と同窓にして親交あり二十一日午後五時博士は氏の爲めに茶話會を自邸に開くべく猶渡邊暢氏等に於ても同樣の催しあるべしと

物價低落
久方振の現象

朝鮮銀行調査五月中に於る京城重要商品物價の高低を聞くに四月の物價を一〇〇とすれば朝鮮生産品は九六、四五と低落し輸移入品は若干騰貴して一〇一、四一を示せるも彼此相殺すれば九八、四五となり乃ち一、五五低落せり例によつて各品騰落の狀況を示せば如左

▼朝鮮輸移入品

▲騰貴六品 麥酒、支那油、打綿、石油、金物、洋紙

▲持合二品 醤油、清酒

▲低落 麥粉、精糖、和金巾、綿絲、石炭

▼朝鮮生産品

▲騰貴五品 小豆、葉煙、油、朝鮮紙、牛臘

▲保合 木綿、松挽材

▲低落十一品 玄米、精米、大麥、小麥、大豆、眞荏、明太、鹽、松薪、木炭、牛皮

尚ほ前年の同月に比すれば七割四分方高又戰前に比すれば約十割高となり居れり

▲騰貴各品 葉煙 入荷漸減せると米支兩國の大手筋より買ひ進みあり賣行きよく蜜越中物は四十五圓を示せり▲紙 賣行きよく遂に漸騰せり▲牛臘 手持入荷共に減少し幾分騰貴せり▲麥酒 輸送難にて入荷を減じ折柄需要季に入つたる事とて目先高見越の買思惑あり騰貴▲石油 需要期にあらざれど船腹不足のため入荷乏しく强含み▲金物 米鐵禁輸の擴大により漸騰▲洋紙 在荷入荷多けれど內地の値上に伴ない上値を示せり

▲低落保合 玄米精米 外米の作柄よく入荷も多く指定販賣人指定並に販賣價額の公表による影響を受け下向き▲大麥小麥 入荷在荷多からざるも收穫期近く下押せり▲大豆 內地註文絶えて低落▲明太 品薄なれど鯖大漁安値のため賣行き少なし▲松挽材 漢江並に京元線よりも入荷あり供給過多の狀態にあり▲牛皮 內地市場閑散のため自然京城も閑散▲麥粉 在荷豐富加ふるに米に比し割高なるため下落せり

細叺生産並に包裝荷造(三)

而して更らに叺の卷込み折曲の『ホツレ』より脫漏米を生ずる一大原因は比較的一般に閑却されつゝある荷造繩の粗惡に基因することを忘る可からず從來

▼荷造用の繩は主として內地製主に備山産の機械繩なりしが一兩年來運賃及び輸送關係と朝鮮繩の生産に依り此移入は殆ど杜絶され之に代りたる朝鮮産機械繩は驚くべき粗惡品にして到底使用に堪へざるもの大部分を占つゝある現況にて其缺點は原料藁の硬くして藁打不可能なるにあり元來機械繩は能く藁を打てば作業困難なる爲め各地共水に浸すか又元及び先の兩端をのみ少し敲き更らに振ひ落したるものを其儘使用し居る現今にては到底荷造堅括などは望む可からず繩は叺以上原料藁の選擇を要するは勿論水に浸さず是を敲き振ひ落したるものを

▼晴天の日乾燥せしめ『スリ』にて繩の荒鬚を磨り落し且つ繩の捻を殺し磨を掛け之を束に造り叺同樣軟くして彈力あるものを製作すること最も肝要にして更らに一歩を進め四五月以上堆積し繩捻りの戻らざる樣落ち著き慎合を挨ち使用するとせば是れ予の最も理想にして又切望する所なり現今の如きものにては大部分は荷造に際し緊括絶對不可能なれば勢ひ繩の片寄り及び繩切れを生じ易く遂に卷込み折曲げの『ホツレ』を誘致する一大原因なることに注意せざる可からず而して予は此機會に於て內地生産及び需給狀態の大要と移入の經過と鮮內大體の狀況を附言し局に當るもの丶一考を煩はさんとす內地に於ける副業としての藁細工が

▼年と共に健全の發達をなしつゝある事は統計の示す所に依り最も廢然たり而して朝鮮の移入叺は五斗叺時代は朝鮮向特有のものなりしが四斗入に改正せられてより內地肥料叺と共通となりたる結果從來の如く朝鮮に於ける需給を顧慮するの要なく安全の立場となり隨て內地の需給關係に依り左右さるゝこととなり殊に昨年來米價の昂騰に基く肥料界の活況と靜岡縣下の清水港に於ける鈴木商店の製粉肥料の大發展に隨伴する需要の激増は朝鮮向叺の生産地たる江州播州の大部分を蠶食しつゝある現況なる關係上播州地方今日の相場は地場一枚十七八錢を唱へ居り現今の朝鮮相場に對比し

▼甚だしき懸隔を生じたるのみならず運賃と輸送力の關係上移入は昨年十一月以降今日まで前年に比し約二分の一に激減し今後尚ほ此狀況を持續するならん而して大正三年より六年までの四箇年間の移入繩叺は左の如し

大正三年 一〇三〇、四六 大正四年 一二〇〇、[illegible]
大正五年 九六六、[illegible] 大正六年 九六一、[illegible]

(全南繩叺販賣組合理事阪本由藏氏談)

朝鮮郵貯増加

五月中に於ける郵便貯金受拂概況は預入新規人員二萬九千人現金三百零九萬七千圓にして拂戻しは九千六百人普通拂ひ七萬五百圓金額二百三十三萬三千圓を示し結局六十七萬圓の増となりたるが月末の現在高は人員百二十八萬四千人金額一千二百四十五萬二千圓の新記錄となり昨年に比し約二萬圓を增したり

教育期間第二期檢閱

歩兵第七十八聯隊第七十九聯隊第八十聯隊にては左記日程に依り大正七年度教育期間第二期檢閲を行ひ軍司令部よりは各聯隊に參謀出張視察すべし

▲歩兵第七十八聯隊 廿一日より五日間聯隊長池內大佐の檢閲あり(二十一日新兵第一期檢閲施設二十二三の兩日は汝矣島附近に於て戰鬪教練檢閲二十四日は將校集會所に於て新兵の學科教練等の檢閲[illegible])

▲歩兵第七十九聯隊 二十三日より二十八日迄六日間聯隊長富塚大佐の檢閲ある筈なり(二十三日[illegible]二十八日は將校集會所に於て[illegible])

▲大田歩兵第八十聯隊 二十七日より三十日迄四日間聯隊長齋藤大佐の檢閲(二十七日[illegible]二十九日[illegible]三十日は將校集會所に於て[illegible])

議員團入京

衆議院議員支那朝鮮視察團一行は二十日午後七時二十五分南大門驛着列車にて入京山縣政務總監其他の出迎へを受け直ちに京電三井東亞朝鮮四社の主催に係る明月館の歡迎宴に赴けり

利原鐵山支店認可

資本金一百萬圓にて本社を東京芝區に有する利原鐵山株式會社は豫て京城府漢江通り十三番地に支店設置許可を總督府に對し申請中なりしが六月十八日附を以て許可の指令ありたり

仁川船渠成立延期

奥田貞次郎氏外十一名の發起に係る仁川船渠株式會社は去る五月三十日を以て成立期限滿了せるより更に當局に對し七月末日迄で延期申請中の處此程許可の指令ありたり

開城公立商業學校

開城 宿年の希望なる公立商業學校は愈々大正八年四月より開校すべく其筋の內議決したるを以て開城內鮮有志者に於て校舍並に敷地を寄附することゝし該敷地は既に選定を終へ校舍は之を石造として本年結氷前に竣成せしむることゝし目下夫々準備中なり敷地の購入校舍の建築に要する金額は約四萬圓にして其寄附募集の許可書は五月卅一日附到達したるを以て十八日發起人集會の上左の設備委員を選定し郡守に顧問を郡庶務主任に庶務全部を郡財務主任に會計事務を囑託し各其承諾を得たるを以て各委員は同夜委員長宅に集合し諸般の打合を了したり(委員)金淇九▲[illegible]▲中田市五郎▲[illegible] 尚ほ同校は內鮮人を併合敎授する筈にて三百人の生徒を收容する豫定なり

地方法院長巡閲

勅使河原京城地方法院長は京畿道の一部及び江原道管內各支廳並びに出張所事務檢閲の爲め二十一日より同地方に出張七月七日頃歸任すべし

郷津檢事正出張

郷津京城地方法院檢事正は管內江原道各憲兵隊、警察署の司法事務檢閲の爲め二十二日より同地方に出張七月七日頃歸任すべし

人　消　息

▲橋本秀平氏(昌德宮警察署長) 數日前より賜暇扶所にて引籠中

▲宮田太郎氏(東京砲兵工廠提理) 二十日夜入京巴城館へ

▲武田信夫氏(同工廠庶務課長) 同上

▲代議士視察團一行廿日夜入京天眞樓へ

▲森島陸次郎氏(大邱辯護士) 同上不知火旅館

▲杉本良氏(江原道事務官) 同上

▲大島庄次郎氏(東京實業家) 同上

▲宮野牧太氏(東京實業家) 同上

▲管田勇氏(司税局京畿出張所長) 廿日夜退京

▲守田保太郎氏▲瀧野勇氏(東京製藥會社員) 同上南行

墺軍攻擊計畫失敗
伊軍優勢=俘虜七千名を獲

墺太利軍の攻擊計畫は全然失敗に歸したり伊軍は十九日モンテネグロの南方なるピーアヴエ河の上流及び下流にて逆襲を行ひつゝあり伊軍の獲たる捕虜は七千名に達し飛行機五十臺を射墜したり尚首相オルランド氏は戰線を訪問中なり(羅馬電報)

瑞典船舶提供批准

瑞典政府は倫敦にて協定せられたる重容量噸四十萬噸の船舶を聯合國の使用に供するの協約を批准せり(倫敦電報)

百聞百種

米國一般の婦人は此程から食料品を十分ならしめる爲め戰爭農園軍を組織し米國の學生も學生農園軍を組織し男女老若の國民が擧つて總ゆる空地を利用して野菜穀物の栽培に努めてゐるが▲五月十二日附華盛頓通信によると米國の有志婦人の一團が出征農園軍を組織しはるばる佛國西に渡航して荒廢に歸した土地を耕すため近く米國を出發すると傳へられてゐる▲出征隊の婦人は二十五歲以上の未婚者で耕作の經驗のあるものと農學校を出たもので自費で渡航するそうだ何れにしても米國の狀態は戰爭氣分で蒸せ返す樣な有樣だが女權論の八釜しい國で斯く迄婦人が後方勤務に活動してゐる事は何んと云つても見上げたものだ▲日本で煙草を買つても燐寸を付けてよこす位で何とも思つてはゐないが支那へ行つて見ると燐寸を箱で買ふやうな豪膽な人間は居ない▲幾本の束幾本の束と云つたやうに色々の束にしてそれに藥を塗つた紙を添へて賣つてゐるそれで支那人に燐寸を幾本か摑んで之は幾本あるかと聞いて見ると大概は云ひ當てるのみならず何んと云ふ日本の燐寸は一箱に何本這入つてゐると云ふ事迄ちやんと香込んでゐるなぞ日本人には迚も眞似の出來ないことである

題朝鮮客棧納涼臺　服部江南

掬翠○山出岫雲。招凉○水入津牕。煙塵萬里西來客。一莚薔薇瀉暑氛。

暴風警報 (二十日午後三時發)

▲風强かるべし▲氣壓中心濟州北部▲示度七五二▲方位東▲[illegible]

商業登記公告

株式會社百三十銀行ハ大正七年六月拾日各新株ニ付拂込ミタル株金額ヲ金貳拾五圓ト變更シタリ
右大正七年六月拾五日登記

商號新設。商號 賈[illegible]商會、營業ノ種類 物産貿易及販賣、營業所 京城府貫鐵洞貳百四拾六番地ノ貳、商號使用者ノ氏名住所 同所 林炳[illegible]
右、大正七年六月拾七日登記

京城織紐株式會社取締役鮮于全ハ大正七年六月五日其ノ住所ヲ京城府水下町參拾池ニ移轉シタリ
內國通運株式會社ハ大正七年六月拾日支那關東州大連市與島町四拾九番地及支那青島早霧町拾九番地ニ各支店ヲ設置シタリ
右大正七年六月拾八日登記

京城地方法院

一鮮人人夫六萬五千人
一石工人夫貳千六百人
一大工壹萬五千人
一抗夫　六千人
右入札ス詳細ハ六月二十日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府

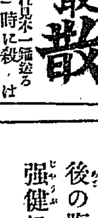
號筆 購買 總督府遞信局
一入札
一、鉛壹千六百貫
詳細六月二十一日ノ本府官報ニ在リ
遞信局

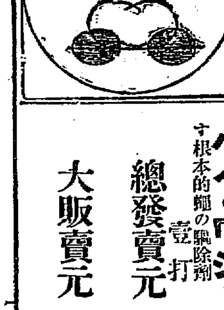
一ボールト外拾九點
一セメント百五拾樽
一木材　六種
右購買ス詳細ハ六月二十日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府

不動産賣却公告
一京城府松峴洞及安國洞所在
一、土地約四千四百八十一坪
但シ數區ニ分割ス
右地上建物
右來ル七月十一日入札ニ付シ賣却ス
詳細ハ六月十八日以降ノ朝鮮總督府官報ヲ見ラルヘシ
大正七年六月
李王職

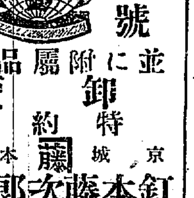
一定款第十五條ニ依リ大正七年七月一日ヨリ總會終了迄株式名義書換ヲ停止ス
大正七年六月
株式會社百三十銀行

旅館開業御披露
今般元明治旅館跡に於て家屋全部改造新調を爲し更らに面目を一新し町噺親切且つ輕便を旨とし開業仕候間何卒御投宿被下度偏に奉願候也
大正七年六月
京城明治町二丁目四十二番地
明治旅館


衞生無害 總監部御認可
イヤナ 蠅取散
◎新發賣十七錢送れば見本一箱送る
此蠅軍を一時に殺すはこれより早き法なし室內の空氣中に少量を撒布せば十分間にて死するは保證す
京城南米倉町交番所前 島田藥房
△特約店及行商希望の方照會乞

友助堂

京城南大門通一
電話二九七七番
振替一八九五番
金銀時計 眼鏡指環 各種販賣 居り候代 金引換に應じ申候

木內宗吾二百五十回忌 追善特別大興行
尾上松之助 中村扇太郎 大合同以下二百餘名出演
人道の鑑 佐倉の曙 大雄篇
下總國佐倉領二百七十七ケ村の民衆に代りて木內宗吾が妻子六人と倶に佐倉城下炎臺の露と消えたのは今から恰度二百五十年前、即ち承應二年二月二十六日の事であります、日活會社は此大義人の英靈を慰めん爲めに實説に基き、新に大規模の撮映をいたしました
山本、東、藤野大合同撮影 新派 忘れ子 全四卷
バイタグラフ會社秀作 活劇 冒險氣球 五千呎
廿一日より上場 日活特約 大正館

新荷著
=價廉+美優+牢堅=
益利の者用乘
ピース號 自轉車 並に附屬品一式

特約賣店 京城本町 釘本自轉車部 藤本次郎本店
多數入荷仕り候に付此際特に割安提供仕候

瓦斯管
合資會社 南方商店
京城南大門通二丁目

下痢(くだりはら)と腹痛には
健胃固腸丸
直ぐ氣持ち良く止り後の腸胃を强健にす
藥價 十錢、二十錢 五十錢、一圓 三圓、五圓
○各藥店に販賣す
○商標と本舖名義に注意あれ

◎飲み易き小粒健胃固腸丸
◎兒童用として小兒固腸丸あり

蠅退治
ハイのウジとタマゴを殺し根を絶つて蠅を枯らす根本的蠅の驅除劑 (ST式固形石油乳劑)
壹打 定價一拾八錢 郵税四錢
總發賣元 熊平支店 電話長六二四番・三壹一五番 振替京城二二二番
大阪賣元
京城日報代理部 電話京城十八番 振替京城三〇〇番

[illegible]は前日來下押氣配を示し居たり一斤六七十錢[illegible]相場なるが居る有樣にて市場品薄の為め[illegible]
るが東京は十三日入電にて竹印七八在庫品不足の折柄更に昂騰は免れれて昂騰氣配なり
月物四圓五十五錢九十月物五圓十難く本油は製油能力を減少し東西

△製飴業大打擊 製飴業は[illegible]不引合に陷り[illegible]出の鹽にて二三製造を續け居れるものあるも殆んど申譯的の僅少な
[illegible]したるが如く傳へられつゝあるが同國政府にして全然油脂の禁輸をなすも將來同國への輸出は船腹關

△分密市況軟弱 石田商店[illegible]の破綻問題に關する交渉の行惱より委員の辭職を見るに至りたるな[illegible]七八月切十五圓賣りの十四圓九十五錢擱みを唱へ居れり而して受限りの先限りに化し逆鞘を現く呈し[illegible]錢を容れたるが米國にて這回豫想より良好なる豫想を為すものあるを[illegible]

[illegible]得たるを以て祝意を表する為め二十二日午後二時漢江に於て舟遊會を催す可し

◎コンノート殿下 各宮家其他御歷訪

コンノート殿下には廿日午前十時半宮廷自動車に召され稻葉松平兩式部官並に二宮陸軍中佐御陪乘有栖川宮、伏見宮、同若宮、閑院宮、東伏見宮、朝香宮、東久邇宮、北白川宮、李王世子各殿下、伊太利、露西亞、米、佛、英各大使館、寺内首相、後藤外相、波多野宮相、戶田式部長官邸を御歷訪正午御歸還ありたり（東京特電）

御答禮

▽各宮殿下

伏見元帥宮始め各宮殿下、李王世子殿下には二十日午前十一時半コンノート殿下御歷訪を受けられたる後何れも霞ケ關離宮御訪問御答禮遊ばされたり（東京特電）

御接見會

コンノート殿下には二十日午後四時より霞ケ關離宮にて御接見會を催させられ山縣、松方、東郷大勳位、寺内、長谷川、井上各元帥、波多野宮相、各國務大臣各國大公使等數十名を御引見遊ばされ稻葉式部官の御通譯にて各伺候者に握手を賜ひたり（東京特電）

▽名刀獻上

井上東京府知事、田尻東京市長は二十日午前十時相前後して霞ケ關離宮に伺候しコンノート殿下に拜謁知事より國產十餘點並に玉川鮎を獻上し田尻市長より名刀一振を進獻何れも御嘉納あらせられたり（東京特電）

◎郵便飛行 パ氏日本にて

二十七日到著すべき米國飛行家パタソン氏は東京大阪、東京長崎間の郵便飛行を試むべしと（東京特電）

◇李王殿下動物園御成

李王殿下は二十日定例午餐會終了後末松掌苑課長の御案内にて動物園に成らせられ先般生れたる仔獅子を御覽あり既に親猫大に成長したる仔獅子の戯れ遊ぶ樣を興あることに思召し最と御滿足の態にて引き取られたるが右の仔獅子は二十一日より周圍の板戶を撤し一般の觀覽に資すべしと

◎島で紙幣僞造 一味數名檢擧

福岡縣警察部にては八幡市の藤井維三郎等一味數名を紙幣僞造犯として檢擧せり彼等は鹿兒島縣大島郡大和村の小島を策源地として僞造に著手せんとせし者也（福岡電報）

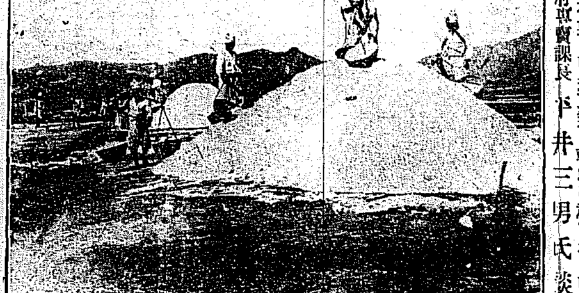
朝鮮の鹽

◇鹽の生產を增せ 朝鮮では何程食ふ 何程鹽が出來る（四）

◇鹽の生產に從ひ有望な曹達工業を朝鮮に起すがよい　總督府專賣課長 平井三男氏談

鹽の種類を大別して海水から採る海鹽、鹽分を多量に含む湖水又は泉水より採る池鹽、泉鹽と夫れから地中より採掘する岩鹽の四種に分つ事が出來る

◎池鹽泉 鹽は英國米國西伯利亞州に湧出し岩鹽は英佛露獨が重で是等は皆經濟[illegible]遠い方であるから茲だけ省略する事にして世界各國到る處で行はれる海鹽に就て述べて見ると此海鹽製造法に天日製鹽煎熬鹽の二種があつて其の內天日製鹽は徹頭徹尾太陽の熱より自然に



鹽の山（天日製鹽の推積）

◎海水を蒸發 濃縮せしめて最後に殘留した鹽を採收する法で今一つの煎熬鹽は自然力に依つて濃縮した鹽水を釜に入れて焚き詰めて製造するもので前者と後者では生產費に於て非常な差異がある事は云ふ迄も無い話である、幸にも朝鮮は氣候の關係上天日製鹽を爲し得る事は非常な

◎天與の賚と 云はねばならぬ此の事業をして益々發達せしめ二億萬斤の支那輸入鹽を驅逐して正貨の流出を減少し尚其上內地の需要を滿し完全に日本の鹽の獨立を圖る事は朝鮮の產業開發上最も有利有意義な事業であらう、內地の如く降雨量の多い所では如何しても天日製鹽は出來ずと云つて從來行ひ來つた煎熬鹽と雖も今日の如く

◎炭價の暴騰 に遇つては經營難を訴へざるを得ない有樣で現に廢業者續出し不足の上にも不足を來さんとしてゐる、此補充は矢張支那臺灣に仰ぐより外に道が無い然し距離の上から考へて其の供給を何時迄も支那乃至臺灣に委せて置く可きでは無い是非とも朝鮮を以て之に代へる可きである。製鹽業の發達は曹達工業の發達を促すものである

◎曹達は戰亂 以來輸入杜絶品不足に遭ひ非常な騰貴を示し內地に於ける曹達工業も前述の如く鹽價關係上思はしからぬ狀態にあると聞いて居る、であるから將來は朝鮮に於いて斯業を起す事は有望の事であらう旁々朝鮮鹽の生產增加を企てることは當面の急務であると信じ當局に於いても其の施設に就いては相當思を致してゐる次第である（終り）

◎開城の豺狩

近來開城附近にヌクテの被害頻々として發生し甚だしきは白晝耕作せる親の目をかすめて近所に遊び居たる三歳の

▲小兒を 咬へ去るなど橫暴の振舞をなし滿月臺附近を橫行せる形跡あるを以て數日前滿月臺附近駐在の巡査が松嶽山の岩窟の間を巡視したるに數頭の仔ヌクテを伴ふ小牛大のヌクテに遭遇せるを以て其仔一頭を叩き殺しヌクテの棲所を發見したるにより開城憲兵分隊並に城嶽祭及び土城憲兵派出所連合にて民間銃獵家を誘ひ

▲松岳山 裏手を狩り立てたところ仔ヌクテ五頭を狩り出し內三頭を射殺したるに其夜より親ヌクテの橫行益々甚だしきより其出沒する滿月臺瞻星臺附近に劇藥を包める牛肉を配布し置きたるに內二個を喰ひ去り乍ら斃死せる模樣なきより又々多量の

▲劇藥を 混じたる牛肉を配布し置きたるが近々再びヌクテ狩を催す由なるが小牛大のもの數頭棲息し居る見込なり

◎書香閣の收繭式

美事な繭を結んだ李王妃殿下の御親蠶

青嵐綾羅に波打つ繪の如き光景

李王妃殿下にはかねて秘苑書香閣にて御養蠶中なりしが既に其大半は上簇し美事なる繭を結びたるより二十日午後一時より前記書香閣に御成りの上盛大なる收繭式を行はれたり是より先李王殿下は

◆睡蓮の花 咲き匂ふ水亭においても定例午餐會を催され李堈公殿下を首め李載覺侯、趙重應子以下の朝鮮貴族、李王職高等官等を御招待相成りたるが右午餐會終了後馬車にて書香閣に成らせられ先づ妃殿下御同列にて

◆蠶室に歩 を運ばれ上簇の模樣を御覽あり終つて收繭式を行はれたるが權藤蠶絲課長司式を承り前記諸員の外御親戚各公妃殿下朝鮮貴族、李王職高等官夫人を始め定例により水原模範場女子蠶業講習所生徒二十三名も亦參列したり斯くて妃殿下には御手づから繭を取りて

◆備付の盆 に移さるゝこと數度、次いで各妃殿下以下主なる貴族夫人等之に倣ひて目出たく式を終りたるが折柄の青嵐參列各夫人の綾羅に波打ちて誠に繪も及ばぬ光景なりき尚兩殿下には式後市合樓上に御休憩參列者に對しては茶菓を御饗應相成りたり

▼白帛に織つて九重の奧へ

講習生徒の恐悅

右につき權藤課長は語つて曰く「妃殿下の御親蠶は趙重應子が[illegible]大臣の時始めて[illegible]行して居られるが[illegible]妃殿下が[illegible]範を示されると云ふことは[illegible]喜ぶべきことで、[illegible]女子蠶業講習所製作所に命じて白帛に織らせられ[illegible]參列せる女子蠶業講習所生徒[illegible]たが今年も[illegible]になるだらう[illegible]卒業の上は夫々出身地に[illegible]收繭式に參列[illegible]したのも此定例によるのであるが彼等は之を非常なる光榮とし衷心から恐悅してゐる樣である」

◎親を殺す

—子と孫とが棍棒で

へ 原因家督爭か

茨城縣稻敷郡朝日村字小池岡房吉（六四）の長男安太郎（四○）孫眞男（二三）等は種蒔中房吉を棍棒にて撲殺自首せるが右の原因は家督爭ひにありと（水戶電報）

◎初日の取組と本社の番外お好み餘興相撲

東京大相撲鳳千葉ケ崎一行は愈々來る二十六七日頃より京城に於て晴天五日間開場すべき豫定なるが初日の主なる取組並びに本社の番外お好み相撲は左の如し

●福知山（伊達錦）鶴ノ海●
小田ノ山（眞砂岩）淺ノ山
玉ノ井（小牛田）若葉山●
大淀（能代潟）錦島
●大潮（琴ケ浦）鳳●
藤ノ川（千葉崎）大戶平●

△本社番外お好み

大潮（琴ケ浦）決勝五人拔き

◎大邱の大相撲

大邱の大相撲二日目は初日に劣らぬ好人氣にて支局好みの小田山甲州の初切は前日同樣大喝采を博し小田山の勝となり午後四時半盛況裡に打出し一行は同五時二十五分發列車にて大田に向へり（大邱特電）

勝		負
千葉ケ崎	寄切	鳳
三杉磯	拘投	大湖
錦島	吊出	藤の川
琴ケ浦	押切	大戶平
能代潟	寄切	大岬
小牛田山	寄切	小田山
大淀	叩込	玉の川

◎患者七百名 小倉師團の寒冒

小倉師團に於ては兵士寒冒に罹されし患者七百名に及べり（小倉電報）

◎今年は蠅が多い

防蠅設備のない組で作つた刺身でチブスになる

◇蠅征伐が必要

一時蔓延の兆候を呈した京城のパラチブスも防疫其の當を得て漸次下火の模樣になつた、而かし是からが愈々眞物の

▼△病氣時季 に這入るのでなか〳〵油斷は出來ない、是れに就いて本町署の小串衛生係は語る。パラチブスは小串[illegible]管內が本家のやうになつてゐるが、元來傳染病の病毒は其の初期に發見して隔離治療するのが最も肝要なことである、然るに動もすれば病家を

▼△隱蔽する 向きもある為め、家族中に一名の患者が發生すれば瞬く間に全家族擧つて枕を並べて呻るやうになり遂に手も附けられぬやうな破目に陷るので、其の間醫師にも診せず素人療治を續けてゐるのは甚だ戒むべきことである、夫れで時節柄

▼△發熱したら、直ちに醫師に診斷して貰ふことである、熱病だからとて強ち悉く傳染病患者と見る譯でないから隱蔽せず診察を受けることが最も肝腎なことである、次に傳染を媒介して行くものと見るべきは蠅である、蠅の觸れた飲食物を口にすることの危險なことは今更言ふ迄もなく現に先頃生魚の

▼△刺身を食 つたのが原因となつてパラチブスを發病した家があつた、是等は嚴密に調査して見れば行商して歩く生魚商の庖丁と俎板とに防蠅の設備が無かつた為めである、夫で先頃から行商者の庖丁と俎板は白布で蔽ふやうに取締ることにした、為めに生魚は成るべく心配のない

▼△自宅の器 具で料理するのが安全である、同時に生野菜ミ果物類を食ふのも危險である、是等は食物其の物よりも還て其の附着物が恐ろしいのである[illegible]今年は例年よりも蠅の發生が夥しく是れが為め今後に於ける衛生狀態は決して油斷出來ず目下の所一般家庭では極力

▼△蠅退治に 努ねばならぬ京城府の方でも今年は事業と豫算の關係上蠅退治の費用が甚だ少なくなつてゐるから之れを補ふべく各戶の蠅征伐が必要となつて來た（小串本町署長談）

◎關長官の舟遊會

李王職關長官は廿三日夕刻より漢江に舟を泛べ判任官以上の職員數十名を招待して慰勞の舟遊會を催す可し

◎日出小學講演會

日出小學校主催にて二十一日午後八時より同校講堂に於て約一時間半に亙る講演豫定にて丹羽清次郎氏の米國談ある由なり尚餘興として筑前琵琶の彈奏あり參觀隨意

◎篠田氏葬儀

京城工業株式會社支配人、山崗會主篠田玄一氏が十九日午前五時開城に於て死去したるは既報の如くなるが葬儀は來る廿三日午後三時光熙門外自宅出棺にて若草町曹洞宗別院にて佛式にて執行する由なり

◎丸一の浴衣デー

京城本町丸一吳服店にては明二十二日より三日間見たゞけでも涼しくなる樣な流行新柄浴衣地デーを開催同時に低格の見切反物つり切等の賣出をなす由

◎高野醉雲 [illegible]京城市內三坂通百七十二番地に卜居せし

▲佐倉宗吾さ 冒險飛行

大正館にては廿一日より全部新寫眞と差替ふる筈なるが今回の呼び物となるべき寫眞は義民傳佐倉宗吾[illegible]百餘名[illegible]全三百五十場木內宗吾二百五十回忌の追善興行なり然して背景には印旛沼の邊りとして琵琶湖の雪景を使ひたるものなどありて見るべきもの多しその他の寫眞としては活劇冒險飛球五千呎、新派悲劇忘れ[illegible]全四卷[illegible]活劇デブ君さ[illegible]

▲有樂館 十八日より新寫眞差替へ映寫中なるが今回の主なる寫眞は[illegible]の後篇身代り貴族、新派悲劇[illegible]

▲浪花節 京城[illegible]一座にて開演中なるが愛聽者の寄り合とて毎夜好評を博し居れり

▲壽館 二十三日より女浪花節[illegible]一行にて開演の筈

◁大冒險・大活劇・全三十四卷▷

ダイヤの1

本日ヨリ上場

米國ユニヴァーサル會社 特別連續大映畫

△第一篇 無言の怪物

△第二篇 捕へ難き囮

!!!四卷上場

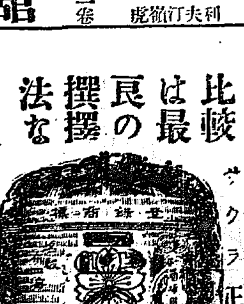
米國ユ社青鳥劇 メリーマクラレン嬢出演 社會劇 家を求めて 全五卷

說明者 南郷公利 竹本國夫 村井漢汀 千代田雪嶺 藤野睡虎

番外滑稽 二〇加 大津繪 全二卷

本町 有樂館

比較は最良の撰擇法なり!!



サクラ正宗　サクラ正宗

京城明治町二丁目

山邑京城支店

電話 八四一番 九四五番

振替京城五七番

優しい奧樣は

朝晝晚の食膳にキット

愛する良人を慰める爲に

純國產

テーシー印

花屋のポートワイン

を毎日お奬めになります

終日の業務でお務れになつた良人をお慰めなさるのは奧樣方のお務めかと存じます。就中御家內打揃ふての御晩餐は最も樂しいもので、近頃どちらのお家庭でも[illegible]お酒の代りに、言ひ合した樣に花屋のポートワインを殿方にお奬めになつてゐます。本品は帝國シャンパン株式會社が國產御奬勵の御聖旨に基き國產の原料を以て佛國の技師が釀造した名實共に日本一のホンモノ葡萄酒であります。虛弱の人も強健な人も毎日飲めば血を增し肉を肥やし夏痩を防いで一家はいつも春の樣に樂しい。

葡萄酒召すならホンモノを!!

各種鑛物分析依賴

金銀精製に應ず

新發見鑛區買入

京城旭町一丁目七

中村分析所

電話一一七番

世界第一の最大工場。

衛生設備の完備。

最優良品たる自信と信用を有する

鷲印ミルクは今や世界に其陰を見ざる處なし。

金錢に代へられぬ御愛兒には

品質本位の鷲印ミルク御使用を乞ふ

米國紐育市 ボーデン鷲印ミルク製造會社

易斷

高島易斷本部主事高島香明先生出張

受付 午前八時より十一時まで午後三時より十時まで

場所 京城旭町一丁目日ノ出湯前（電話一五七三）

神易協會

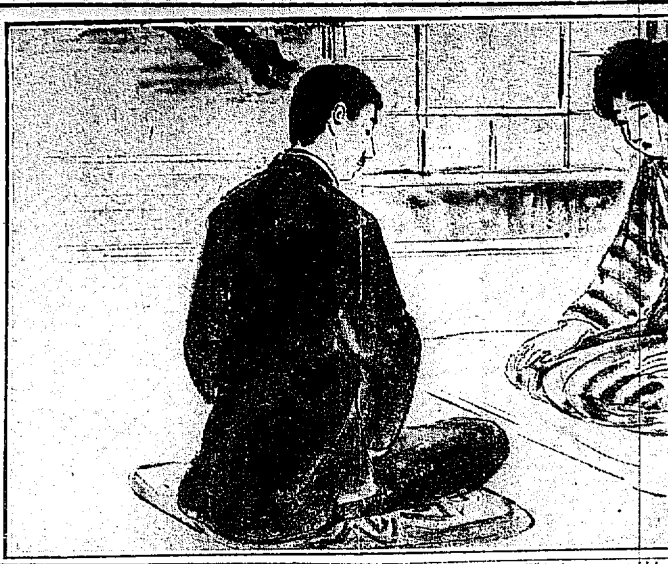
高島易斷本部

妻の心 十四

小林蹴月作 武内桂舟畫

(三)の五

少時すると、櫻井は寫眞屋の持つやうな長方形い倘色の小鞄を大切さうに小脇に抱へながら入つて來た、根が禮子と從兄妹同士の仲でもあるし、年齢も禮子とは同年の二十七歳で、若し久三郎と云ふ男がなかつたら、縁つゞきの關係上此の町川家の聟養子ともなるべかりし男だけに、所謂當世式のハイカラ紳士として、その態度も智識階級も相應に出來上つて居る人物なのである。醜を云へば、何處となくぎすぎすした陰險らしい所がないではないが、本人それ自身は成るべく丈それを隱して、寛量らしく見せようと努めて居るのが見る者の眼からは寧ろ反つて一種の厭味とも見ねきざとも見受けらるゝのである。



『禮子さん、お身體がわるいさうですね。一體何處が甚麼工合なんです?』と順吉郎は、飽まで如才ない調子で、禮子の寢んで居る枕頭近くへ坐つた。

禮子は、おづおづながら、胸の邊を搔き合はせて、

『櫻井さん、流感所へお通ししまして、大變失禮ですけれども、何卒お赦し遊ばして下さい。いゑ、病氣の方は、左して大した事も御座いませんのですけれども……。』

『ははあ、大した事がなければ、それが何より結構ですが……町川さんは、まだお歸宅にはならんのですかね。』

『はい……まだ……。』と云ひかけたぎり、禮子は、窃かに胸を抑へて順吉郎の顔を覗て居る。

『まだ、お歸宅には……はてな、そんな筈はないんですがね。』と、順吉郎は、半信半疑らしい突惚けた顔付を爲ながら、

『禮子さん、實はね、一兩日前狩田の側の森ケ崎の鑛泉宿で、町川さんが柳橋の藝妓と一緒に泊り込んでお在る所を、或る偶然の事から、一寸お見掛けしたんですが、その時も異れ異れ、貴女の御病氣の事から何から、お噺を爲といたんですのに……今以て御歸宅にならんと云ふのは、隨分亂暴な遣り口と云ふもんですね。』

必ずしも、母の喜久子と腹を合はして居る次第でもあるまいが、順吉郎の語調から考へると、さながらそれが禮子に對つて、見限りの付け時であるぞと云はぬばかりである。

『……………。』

禮子は、是も自分が到らぬ爲めであらうと、腹は立ちながらも、腹で休へて、少時は返事もなしに默つて居る。と、順吉郎の方は、反對に薄べらな唇に馬力を加へて、

『お話の次手だから申しますが、その同伴の藝妓と云ふのが、實に一通り二通りの品物ぢやないらしいんですよ、禮子さん。私が何も事を好んで、町川さんの身上を惡口するんぢやありませんけれども、苟めにも大日本帝國の代議士であらう、實業界に於ても、相等の地位を占めて居らるゝ町川久三郎ともあるべき人が……。』

『もしもし、櫻井さん、お話の中では御座いますけれども、良人が其の森ケ崎の望月館とやらへ同伴て行つて居ります藝妓の名前も何も、妾はちやんと承知して居りますんで御座いますから、決して貴郎の御親切を無に致す譯では御座いませんけれども、良人の身上に關するお話と云ふのが、夫丈の事で御座いますなら、憤願もうお止し遊ばして頂きたう御座います』

『ヘツ、禮子さん、貴女がその藝妓の名前までも知つてお在ですつて?』

順吉郎も、是には一本參られたらしい、氣味合ひで問ひ返した。

禮子は、病揶ながら、稍開き直つた態度で、

『能く存じとるんで御座いますの柳橋の春の家の若龍と申す女で御座いませう。櫻井さん、恰度幸ひ貴郎もその女の事を御承知で在つしやるなら、良人の爲めに何とかして、その女を自宅へ伴れて來るなり、乃至は附近の便利な所へ小さな家でも一戸構るなりして、一生涯、妾と姉妹同樣に交際の出來ますやう取計つて頂く事は、出來ないもんでせうか?』

順吉郎は全然自身の豫期して來た所と物の順序が違つた爲めであらう、追はれた猫のやうに眼を三角にして、遁かにきよときよとし出した。

京城の名物 (旭町三丁目入口 西通三) カフエータイガーの洋食とアイスクリーム

名刺 京城 太平堂 電話二七一二番 振替京城二三六七番

京城旭町二丁目 胃腸病院 入院隨意 院主 佐々木杏造 電話一六五番

日報歌壇

□淺宵集 ―六月十八日夜― 默

遠くなり近くなりつゝとゞろ神さ君の山を打ちめぐるかも
とゞろ神おごろおごろに鳴り響きさ君の山に雨降らむさす
やれうれしさ君の山を越えながら吾が肌裸に雨ふりきたる ○

不案
裏山のやまの青葉のなつかしう瞳にせまり來る宿にてありしか
旅なゆく此身いさしも國境の山むらさきに打ちつゞきたる
ゆきくれてあめに宿ればたの音枕ゆるがす一夜なりけり

◉筑前琵琶 由水波旭子氏の主宰せる京城旭房會支部に於ては廿一日(金曜日)午後六時より本町游部に於て第六回温習會を開催する由演奏曲目左の如く入場無料なりと▲大高源吾(山口)▲湯衣塚(唐重)▲高田馬場(將木)▲弘良親王(蟲田)▲乃木將軍(大津)▲川中島(旭枝)▲村上喜劍(旭岡)▲雪の別れ(旭央)▲佐藤若竹(旭河)▲湊馬遺狗)▲菊の礎(石碇水波旭子)以上

新刊紹介 (到着順)

▲現の圖案工藝(四九) 中央の細工纏掛器原色版、印刷圖案、梨谷丁稀、陶器新圖案、井瓶圖案、柳田謙司、加藤有吉、船網圖案、室田久良三、ミクッション圖案以上彩色石版、物器、古雅印度更紗、東京美術學校製品、細工品、庭園ルベンチ圖案、河南●雪野●長谷川、ポスタースタンプ圖案以上の外圖案工藝の記事豐富なり(東京淡路町二ノ四(其社)

▲日本一(五ノ六) 日く日本一は雜誌界の新聞なり一家のバイブルなり日本一の高潔なる人格者なり在らゆる點に於て日本一なり日本一は遂に世界一たらんとすさ多趣味多方面にして餘みでのある十服價なる誌なり(四六版二百卅頁十五錢 東京牛込神樂阪通り南北社)

讀者の領分

▲內地觀光した目で朝鮮を見ますと第一は山に木が無い事第二は川の整理して居る事でありますが其他穀術する事が澤山ありますが以上の二つが朝鮮で一番緊急であると思ひます鮮に居る農業に從事して居る諸君は朝鮮も內地より劣らないほど一大農地たらん事を望みます(觀光生)

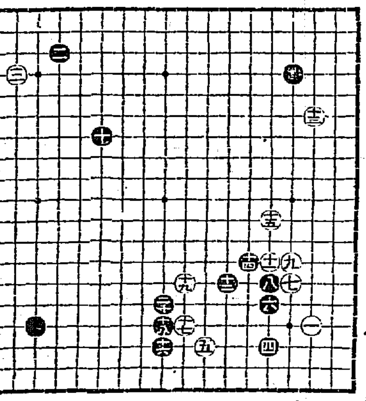
▲菜房の或る頭役は午前九時に出勤して十一時半まで約二時間半は人の批評や世間話十二時頃になると自分で飯を炊き始めて午後一時頃になると炊き上つて飯を腹に收めるさうして仕事に取り掛るのはようやく午後の三時からである此の奴は一體何の爲めに出勤するのか將又飯の爲め出勤するのか知れない(公小生)

▲程なく惡技術行手に入る兩便所及趣溜に發生せし黴菌を殺菌すべく最も新酒にして有効なる薬を敷へて下さい(一衛生青年)

▲京釜線鳥致院驛某店のお神さんよ夫の不在中に來る非常に熱心な關係ださの評判高し早く悔ひ改めねさ露現するよ(老婆心生)

棋戰 (一) (大正七年六月九日 於園 非大會)

四段 齋藤賢德氏
二子 白 南圭氏



一	ヘの六	イ
二	ヨの三	ロ
三	ヨの四	ハ
四	レの七	ニ
五	ホの七	ホ
六	チの七	ヘ
七	ホの十五	ト
八	ニの十四	チ
九	ニの十四	リ
一〇	ニの十五	ヌ
一一	ソの七	ル
一二	ホの十三	ヲ
一三	トの十四	ワ
一四	ハの六	カ
一五	ヘの十三	ヨ
一六	ホの十一	タ
一七	ヌの十七	レ
一八	リの十六	ソ
一九	ヌの十四	ツ
二〇	ヌの十三	ツ

大阪期米 二十日後場 (當限 中限 先限)
一錢と押し四錢と返したるが三節に至り大阪後寄六十七錢四節五十八錢の入電に中五十五錢先二十五錢と返し
十一錢二錢三錢四錢三錢二節三十三錢三錢二錢三錢四錢二節十七錢八錢
七錢五錢六錢五錢六錢七錢四節二十七錢七錢六錢七錢
(平均値 (一節 二節 三節 四節)
二十三圓二十一錢 二十三圓二十七錢

名聲斯界に赫々たる世界の名酒
ヘルメスウヰスキー
本品は釀造後永年貯藏熟製したる香りと口當りのよい逸品!!
家庭用 旅行用 二種あり

代理店 大阪東區安土町 祭原伊太郎

最新刊
朝鮮法規提要 朝鮮法制研究會編 定價一圓八十五錢 郵稅十八錢
新約物語 野邊地天馬 一、五〇
縮刷日本橋 泉鏡花 九五
史話と文話 秋野由之 一、八〇
淡會社商店 商法釋義 定價九十五錢
に必要なる
獨乙の敗北 大日本文明協會 二、二〇
禪學要義 加藤咄堂 一、〇〇
小學教授の研究 青木誠 四郎 三、二〇
新時代の史學 五十錢
京城管內 圖番地入 定價十五錢
小てる 重太郞 吉田常夏 特一、七〇
四ツの音號 加藤朝鳥譯 六五
史文 章忍ぶ由紀子 九五
京城本町 九種傳染病豫防軌範 大阪屋號 振替京城二二七三番 電話六四番 二〇八番
(本店)東京(同店)大連、旅順、遼陽、釜山

黴毒淋病で當惑する人に
帝國醫科大學特命製劑者たりし赤井先生の考案に成る藥化學應用療法は効力卓絕にして在來行はるゝ自宅療法と趣を異にし專ら使用の安全、簡易、經濟を主とせる最善良法なり
無代進呈 ハガキに必ず病名を記して照會あれ、彩色圖入の詳細解說書非賣品を直に秘密發送す
東京市本所向島小梅町二〇三 東京藥化學研究所

京日案內
▲申込後中途掲載中止の節は料金不返戾 ▲六回以上の連續申込は特に割引のこと ▲御掲載は必ず數字の計算違なき樣記入下さい ▲一回前金一番外 普通五十錢 (一回前金(二行)一回拾錢增し)

普通
中古獨逸製ピアノ使用後十ヶ年間位安價ニ讓渡 京城舟橋町一 電話三一〇五 杉野 235
◎ミシン職人大至急入用 但し小倉服の縫ひる人 京城黃金町 ◎平賀大和町 小町屋商店 219
外勤事務員至急入用希望者は履歷書携帶來談あれ 黃金町武丁目 京城新報社 250
▼融通 立替、月收の御方へ極秘迅速 大和町三ノ三(稲荷前)週本 京城 228
時計見習入用年齢十四五六歲希望者は本人來談あれ但要保證人 太平通二電二四二五 向井時計店

番外
▲金融 月收の方に極秘信用貸 京城本町五電車終點 御報伺上候又は御來談 大和屋質店 209

京城遠方城外市場 優良成熟採種普通有繝れ品に非す 金融の種撒は今也申込まれ直送す 眞正魯桑精良種 鮮總業會 182

京城若草町一百六 電話三〇一番 し公債債券物價買入、擔保貸附 恩給 年金恩給 低利御立替 一切 西村商會 183

魔法瓶 及魔法瓶中瓶取替 京城本町二丁目 電話一一二四番 高木旅行用具店 165

恩給 月一歩二厘本人直接 收引 櫻井町一ノ一九八 電話二五〇番 舊博多屋本店 201

患者輸送 寢台車 安價叮嚀 取扱致す可く候 永樂町二丁目 電話一六八九 岡本組 277

りん病 急性慢性を問はず(土發見の)最新藥淋病を御用ひあれ全治速し
七日分一圓 十四日分一圓九十錢 本藥は他に御賣なく直接本舖に御注文あれ
京城黃金町三 振替京城三二七番 山田文殊堂藥房

ハーデザック 特製品
十個四十錢 十個六十錢 變形十五錢 女用一個八十錢 ▲月經帶一個七十五錢 廿個以上一割引 郵券代用 割增要送料

花柳病外科專門
◎梅毒◎淋病◎泌尿生殖器病 ◎睾丸炎◎痔疾◎肛門病◎皮膚病 婦人病◎神經衰弱ヒステリー
京城南大門通 農工銀行裏 909 司生堂醫院 電話三〇六五番

李王職御用 牛乳 ニュソ 洗粉 石鹸 主製 肥塚正太
京城蓬萊町四丁目 電話二五 東亞牧場

外科花柳病 內科婦人病 入院隨意
醫學士 齋藤勇 醫士 齋藤豐次
京城本町五丁目稲荷座前 電話二〇二番 大和病院

□柳製專賣品トランク
□雨合羽防水布ゴム引マント 雨具一切
□魔法瓶及中瓶取替
□其の他旅行用具一切

京城本町一丁目 高木旅行用具店 電話一三四番

痔疾專門
入院隨意
京城明治町二丁目本町より入る中程(電話二一〇二番)
京城 久枝肛門病院
いぼぢ だつこう じらう はしりぢ さけぢ かゆぢ ねけぢ こうもん結核 痔疾神經病 等

健胃消化 ゴルフ GOLF
美味で胃腸に一番よくきくゴルフは
有名なるタカヂアスターゼを主藥とせる健胃消化劑にして胃腸病一切。病後衰弱、營養不良、過飮過食、根氣なき人に卓効あり
定價 二十五錢 五十錢 一圓廿錢
全國藥店にあり
東京 泰昌製藥株式會社 室町

資本金壹千萬圓 頭取 安田善三郞
株式會社 百三十銀行 京城支店
京城本町壹丁目 電話 五八番 一九四番 振替貯金京城二二三番
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候 爲換取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地有之候

りん病 請合藥
ばい毒 請合藥
京城府大戶外停車場通 ドラック商會滿鮮本部 水道町武丁目 ドラック商會支店
詳細は本月十六日の本紙に掲載せり御注意あれ

日本郵船出帆 仁川

◎大連行、天津行
相模丸 六月十九日
三河丸 七月九日 正午出
高砂丸 六月廿九日
仁川海岸町一丁目 電話十一番 堀回漕部

問自動車著發時刻

金泉 乃城
下り 一番 二番 三番
上り 一番 二番 三番
(時刻表)
金泉邑 乃城
金泉 泉居自動車部
乃城 金泉支部 電話四八番
(貨物運搬仕候)

尼崎汽船仁川出帆

下關、大阪直行
第一大湖丸 六月 日後四時出
大有丸 六月廿一日後四時出
山下關、神戶、大阪行
君が代丸 六月廿五日後四時出
仁川海岸通二丁目 電話十九番 新杉回漕部

共同汽船仁川出帆

大連直行
第二共同丸 六月廿三日後入港 六月廿四日前出港
阿波共同汽船株式會社 本町四丁目(電話一七三番)
仁川代理店 野口商會
元山代理店 (電話二四四七番) 田口回漕部
京城代理店 南大門(電話二七六〇八二) 河村運送店

釜山出帆廣告 汽船

門司、神戶、大阪行
和歌浦丸 月 日後五時出
立神丸 月 日後五時出
元山、清津、浦鹽行
和歌浦丸 月 日後十時出
立神丸 月 日後四時出
佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
天草丸 毎月二日九日十四日廿日廿一日廿六日 午後十時出帆
元山、西湖、新浦、城津、清津行
第三琴平丸 四月 日後六時出
門司、宇品、神戶、大阪行
第三琴平丸 四月 日後六時出
釜山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部

朝鮮郵船出帆

天候船積等ノ都合ニ依リ發著日時變更スル事アルベシ 詳細ハ本社又ハ各地支店出張所代理店取扱店ニツキ御承合被下度シ

◎敦賀行 清津發城津元山經由
平壤丸 六月廿七日 清津發
平壤丸 六月廿三日 元山發
◎浦汐行 大阪發門司、釜山元山、城津經由
平安丸 六月廿五日 釜山發
平安丸 六月廿七日 元山發
◎雄基行 釜山各港經由
雄基丸 六月廿四日 釜山發
雄基丸 六月廿七日 元山發
成鏡丸 六月廿九日 元山發
成鏡丸 七月三日 元山發
◎元山雄基線 元山起點各港經由雄基まで
穩城丸 六月廿一日 元山發
◎大阪行 門司神戶經由
山陽丸 六月廿一日、元山發 釜山發
◎關門行 雄基發各地經由
京畿丸 六月廿五日 元山發
京畿丸 六月廿八日 元山發
成鏡丸 六月廿一日 釜山發
成鏡丸 六月廿五日 釜山發
◎金剛山遊覽便 元山發長箭行 丁卯日出帆ヶ月間 六月五日
穩城丸 六月廿六日 元山發
◎鬱陵島行 釜山發浦項及各港經由
盛德丸 六月廿六日 釜山發
◎釜山浦項線 江陵丸、襄陽丸毎日釜山浦項發
◎濟州島行 釜山發長承浦經由
昌平丸 六月廿六日 釜山發
◎東廻公州丸 西廻慶興丸 六月廿三日 六月廿六日 木浦發
◎釜山麗水線 海州丸、巨濟丸、統營丸 毎日 釜山麗水發
◎木浦麗水線 順天丸 六月廿二日 木浦發
◎多島海行 慶興丸 六月廿二日 木浦發
◎木浦行 慶饗丸 六月廿二日 仁川發
◎海州行 錦江丸成歡丸毎日一回 仁川海州發
◎鎭南浦行 晉州丸 六月廿三日 仁川發
◎青島行 江原丸 六月廿二日 仁川發

◎朝鮮鐵道及社外船ト荷客連絡運送ノ取扱アリ
本社 京城南大門通 (電話一二九五、二二二三)
釜山支店、元山出張所、木浦回漕部、堀回漕部、山野回漕部
京城南大門驛前 京城荷客取扱店 松原運送店 電話一七〇番
仁川港代理店 元山港海岸通 釜山港佐藤町
(其他各寄港地ニ荷客取扱店アリ)

大阪商船汽船出帆

仁川出帆
神戶、大阪行
日清丸 六月廿五日 後五時出
元山出帆
西湖津、新浦、城津、清津行
安平丸 六月廿四日 後十二時
釜山、門司、宇品、神戶、大阪行
安平丸 六月三十日 後九時出
大連出帆
上海、基隆、打狗行
湖北丸 七月十二日 前六時出
共隆丸 六月廿一日 後四時出
內地各港出帆主要航路
歐洲行 每月一回
南米行 一年四回
北米行 每月一回
濠洲行 每月二回
孟買行 每月一回
南洋行 每月一回

御注意
◎外國航路ハ外國航路及船車切符、◎朝鮮鐵道及南滿洲鐵道社線ト聯絡切符ヲ發賣ス
◎仕出入物貨物ハ切符及荷客取扱ヲ爲ス
▲約束時間一等客御案內 ×印一時間前 △印八時間前
大阪商船株式會社仁川支店 電話二番 二〇五番
京城 切符發賣所 內國通運會社支店 電話七〇八番
仁川 切符發賣所 仁川京城通り 本町一丁目 旅館 電話二六一番
協同組 仁川港町 一丁目 電話七番 西田支店